

第九十回帝國議會
衆議院

食糧緊急措置令(承諾を求める件)委員會議錄(速記)第四回

付託議案

食糧緊急措置令(承諾を求める件)

昭和二十一年七月六日(土曜日)午前十時十四分開議

出席委員

委員長 成島 勇君

理事 岩本 信行君 坂本 實君

理事 森 幸太郎君 堀馬 越 見君

理事 松岡 潔君 須永 好君

理事 細野 三千雄君

大井直之助君

廣川 弘輝君

本多 花子君

苦米地義三君

叶 凸君

田中 健吉君

北 政清君

的場金右衛門君

山本 武夫君

野本 品吉君

出席國務大臣

內務大臣 大村 清一君

厚生大臣 河合 良成君

出席府縣委員

大藏事務官 池田 勇人君

農林事務官 楠見 義男君

農林事務官 三堀 參郎君

農林事務官 坂田 英一君

食糧管理局長官 片柳 眞吉君

本日ノ會議ニ付シタ議案

食糧緊急措置令(承諾を求める件)

○成島委員長 開會致シマス、通告順ニ依ツテ質問ヲ許シマスガ、其ノ前ニ、農林大臣ハ午前中「マツカーサー」

司令部ノ方ニ打合セニ行キマシテ見エラレナイサウデアリマス。岩本君

○岩本委員 極メテ簡單ニ、三ノ事項ヲ御尋ね致シマス、私ハ自分自身ガ農業デアリ、同時ニ周圍悉クガ農業デアリマスカラ、本當ノ農民ノ心理ト云フモノヲ掴ンデ居ル積リデアリマス

ガ、此ノ農民ノ心持ヲ肥料問題ニ付テ例ヘテ見マス、農民ト致シマシテハ、國營デヤラウト、民營デヤラウト、或ハ國家管理デヤラウト、サウ云フ機構ニ付テハチヨットモ關心ヲ持ツテ居ラスノデアリマス、要スルニ、何デモ増配シテ、吳レバ宜イノダ、斯ウ云フコトガ本當ノ農民ノ要望ナノデアリマス、併シナガラ我々トシテハドウ云フ機構ニ依レバ増産ガ出來ルカト云フコトハ、農民ノ心理ハサウデアリマシテモ、別ニ此ノ點ハ御尋ねシナケレバナラスノデアリマス、昨日ノ質問ニ對シマシテ、國家管理ヲオヤリニナルト云フヤウナ風ニ受取レタノデアリマスガ、其ノ場合ニ付テ國家管理ガ宜イカドウカハ理論ヲ別ニシテ、私ハ然ラバ國營デヤレバ、ドウ云フ長所ガアリ、ドウ云フ短所ガアルカ、ソレカラ民營デヤレバ、ドウ云フ長所ガアツテ短所ガアルカ、國家管理デヤルノダト云フコトデアレバ、ドノ程度突キ進ンダ所ノ國家管理ヲヤラレルカ、所謂國家管理ニモ程度ガゴザイマセウガ、ドノ程度マデ眞剣ニオヤリニナルノデアアルカ、斯ウ云フ點ヲ先ヅ御聽キシタイノデアリマス

ソコデ此ノ間私共神奈川縣ノ代議士

ガ主催致シマシテ、生産縣ノ十何縣カノ代議士諸君ヲ昭和電工(案內致シマシタガ、彼處ヘ行ツテ見マス、努力ニ依ツテ生産ガ相當ニ出來テ居リマス、而シテ本當ニ出來上ツタ「アンモニア」ノ上ニ雨ガドン／＼漏ツテ居ルト云フ姿デアリマシテ、其ノ當局者ノ説明ニ依リマス、雨ノ降ル日ガ一番心配ダ、是ガ溶ケハシナイカト云フコトデ全ク心配シテ居ル、併シナガラ屋根ノ資材ハドウ懸イデモ廻ツテ來ナイ、出來タ肥料ガ溶ケテ流れト云フノニ、其ノ上ヲ防グ所ノ屋根材サヘ廻ツテ來ナイト云フ話ヲ聽キマシテ、國家管理ニシテモ、民營モ國營モサウ云フコトハ別ニ致シマシテモ、サウ云フ點ダケハ何レノ途ニスルニセヨ手ヲ加ヘナケレバナラスト思ヒマスガ、現在サウ云フ點ニ付テドウ云フ風ニ慎重ニヤツテオイデニナルカ、其ノ點ヲ先ヅ一寸聽イテ置キマス

ソレカラ二、三點デアリマスカラ續ケテ御聽キ申上ゲマスガ、私ハ大勢ニ依ツテ唱ヘラレテ居リマス所ノ、薩ノ綜合供出制ト云フモノニ重大ナ關心ヲ持ツテ居ルノデアリマス、今日所謂薩ヲ云フモノガ段々減ツテシマフ、減ツテシマフノハドウ云フ理由デアアルカト云フコトヲ調ベテ見ナケレバナリマセウガ、此ノ減ル理由ハ、結局今ノ七

百掛ト云フ相場ハ、相場ノ上カラ言ヘバ私共ハ決シテ安イモノデハナイと思フノデアリマス、相場ガ安クナイノニドウシテ減ルノダラウ、斯ウ云フコトニナレバ、結局薩ト云フモノハ出來上

リマシテ、ソレガ残りヲ生ジマシテモ關與ハ出來ナイ、物々交換ノ材料ニハナラヌ

(委員長退席、坂本委員長代理著席)

斯ウ云フコトガ、相場ガ或ル程度維持シテ居リナガラ、頼マレテモ頼マレナイデモ桑ヲドシ／＼抜イテシマフト云フコトニ歸着シテ居ルと思フノデアリマス、ソコデ薩一貫二百匁アリマスト丁度米一俵ト交換出來ル比率ニナツテ居リマスカラ、實際問題トシテハ見返リ物資ノ最重要ナ品トシテ養蠶ヲ相當復活スルト云フコトハ、將來ノ國策上絕對必要ダと思フノデアリマスガ、サウ云フ理由ニ依ツテ養蠶ガ段々減ツテ行ツテシマフ、所ガ此ノ養蠶ノ問題ヲ考ヘテ見マス、丁度百二十匁ノ薩ヲ生絲一俵ガ出來ル譯デアリマス、所デ其ノ百二十匁ノ薩ガ出來ル中ニハ、約二十匁ニ垂ントスル蠶素、燐酸、加里ト云フヤウナ肥料ガ所謂蠶下ノ中ニ含まレテ居ル、其ノ點非常ニ此ノ肥料不足ニ對シテ救ハレル譯デア

ル、而シテ又薪炭不足ニ對シマシテ、百二十匁ノ薩ヲ穫リマス、丁度焚木ガ五、六人ノ家族デ一年間燃セル、斯ウ云フ所謂一石三鳥ト云フコトニ確カニナルと思フノデアリマス、サウ云フ理由デアリマスカラ、ドウシテモ養蠶ヲ云フモノヲ復活シテ、見返リ物資ヲ作ツテ行クト云フコトニ付キマシテハ、何ト致シマシテモ綜合供出ノ中ニ薩ヲ入レテヤル、斯ウ云フコトヨリ外途ハナイト私ハ確信致シテ居リマス

ガ、此ノ薩ヲ綜合供出ノ中ニ入レラレト云フ御考ヘハナイカドウカ、又ナイマデモヤツテ貰ヒタイト云フコトヲ強ク要望スルノデアリマスガ、其ノ點ニ對スル所ノ見解ハドウデアアルカ、此ノ點ガ一ツ

ソレカラ今一ツハ餌ノ問題デアリマス、何ニ致シマシテモ、餌ガナクテハ牛ガ飼ヘナイ、有畜農業絕對デアアルケレドモ、馬モ牛モ段々ニ減ルノデアリマス、此ノ分デ行クト絕對ニ減ツテ行クノデアリマス、ソコデ餌ノ對策ト致シマシテハ、滿洲カラモ望メズ、何處カラモ望メマセウカラ、私はハドウシテモ餌ヲ公認シテヤル、併シナガラコトナ風ニ畑ガ少イ時ニ餌ヲ認メテヤルト云フコトハ相當困難デアリマス、幸ヒニシテ百萬町歩ガ百五十萬町歩ガ増設ト云フ計畫ガアルノデアリマスカラ、此ノ増設計畫ノ中カラ相當所

要ノ餌ヲ公認シテヤル、供出シナイデ宜イト云フ餌ヲ公認シテヤル、併シナガラ増設ノ箇所ハ一地方ニ局限セラレマスカラ、其ノ増設シタ畑カラ餌ヲ認メルト云フコトデハ、全國のニ輪送關係其ノ他カラ構ミガアル、隨ヒマシテ其ノ増設ノ中カラ何十町歩、何百町歩ノ餌ヲ認メルノダト云フ建前ヲ執ツテ、ソレノ按分比例デ全國ノ耕地ニ對シテ分配シテヤル、斯ウ云フ方法ヲ執ラレルカドウカト云フコトヲ御尋

ネ申上ゲルノデアリマス

五千萬石ノ中ニ含まレテ居ツテ、尙且ツソレダ最低ガ保證出來ルノカ、其ノ最低ト云フノハ二合一勾デアアルカト云フコト、ソレカラ復員或ハ在外同胞ガ歸リマス、其ノ人口増加ヲドノ程度ニ見込シテ、今ノ五千萬石ガ最低ナノ

テ國營ノ問題ニ付キマシテハ、其ノ方ニ移シタイト存ズルノデアリマシマスガ、然ラバ現在ノ形態ハドウカト申シマスト、是ハ或ル意味ニ於テキマシテハ、買取專賣ノヤウナ形態ヲ今ヤツテ居ルノデアリマス

ニハ最も必要ナモノヲ得ル爲ニ、爾ガ見返リノ役ヲナスト云フコトニナル譯デアリマシテ、何レニ致シマシテモ、爾ハ私共ト致シマシテハ是非確保シテ行カナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、ソコデ綜合供出ノ問題デゴザイマスガ、從來私共ガ食糧ノ綜合供出ト云フコトヲ申シテ居リマスノハ、

キリトシテ、ガツチリトシテ再建方策、例ヘバ此 養蠶ニ付テ具體的ニ一實ハ食糧アタリデハ各々農家々々毎ニ生産段階、生産数量或ハ家族構成ト云フヤウナモノヲハツキリ致シマシタ米穀管理臺帳ト云フヤウナモノヲ作ツテ、合理的ニヤツテ居ルヤウナ府縣モアルノデアリマシマス、養蠶ニ付キマシ

テモ、之ヲ再建致シマス場合ニハ、此ノ基礎ノ養蠶農家カラハツキリトシタ體制ヲ一ツ作りマシテ、サウシテ今申シマスヤウニ、食糧ニ不安ナカラシメルト云フヤウナ方法ヲ併セテ考ヘタイト思ヒマシテ、現在私共ノ方ノ蠶絲局ニ於テキマシテモ色々案ヲ練ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、是等ノ點ニ付キマシテハ、尙ホ色々御推進モ御願ヒ致シタイト存ジテ居ルノデアリマス

○補見政府委員 御答ヘ申上ゲマス、先ヅ第一點ノ肥料ノ問題デゴザイマスガ、岩本サンカラ御述ベニナリマシタヤウニ、農民トシマシテハ一畝デモ多クノ肥料ガ出來、又一畝デモ多クノ肥料ガ増配セラレト云フコトヲ欲スルノガ農民ノ眞ノ聲デアリマス、併シ又御話ニナリマシタヤウニ、其ノ増産ヲドウ云フ方法ヲ以テシテ行カト云フ、機構のナリ又組織のナ事柄モ併セテ考ヘナケレバナラヌト云フノデ、茲ニ

此ノコトハ御承知ノヤウニ、各肥料ノ製造會社ガ生産致シマシタ肥料ハ、總テ之ヲ統制機關デアアル日本肥料株式會社ニ必ズ賣リナケレバナラヌト云フコトニナツテ居リマシテ、其ノ賣リマシタ肥料ハ、國ノ意見ニ基キマシテ公正分配ヲ今致シテ居ルノデアリマスガ、此ノ場合ニ、生産シタ業者ニ對シマサル増強ノ方策デアリマス、此ノ生産増強ノ方策ニ付キマシテハ、是モ御承知ノヤウニ、戰爭中ハ軍需會社法ガ

問題デアリマスガ、御話ニアリマシタヤウニ、爾ハ見返リ物資トシテ、又將來ノ我が國ノ在リ方等ニ付キマシテ想像致シテ見マシテモ、貿易品トシテドウシテモ蠶絲ト云フモノハ保持シテ行カナケレバナラヌ問題デアアルノデアリマス、爾テ私共爾ハ食糧ナリト云フコトヲ只今言ツテ居ルノデアリマス、

ハナクシテ、實ハ綜合供出ト云フコトデアリマシテ、結局其ノ理由ガ食糧ニアル譯デアリマスカラ、爾テ爾ノ生産者ガ、他ノ生産者ト同ジヤウニ食糧ニコト缺カナイヤウニト云フ點ヲ政府トシテハ考ヘルト云フ方向ニ向ツテ進ンデ參リタイト考ヘマシテ、例ヘバ本年ニ於テキマシテモ、一ツ一貫目ニ付テ一升特配ヲシヨウ、尤モ是ハ食糧事情モ斯ウ云フ狀況デアリマスカラ、半分ハ取敢ズ出シ、アトノ半分ハ食糧事情ガ少シ緩和シマシテハ、養蠶農家ニ食糧不安ナク養蠶ニ專念出來ルヤウニ努メテ行キタイ、斯ウ云フコトヲ實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ全體ト致シマシテ、

マシマスガ、飼料問題ニ付キマシテモ、御話ニナリマシタヤウニ、是ハ從來ノヤウナヤリ方デ參ツテ居リマスト、食糧ト飼料ト云フモノガ食合ヒノ恰好ニナリマシテ、結局是ガ家畜、延イテ堆厩肥ノ原材料ヲ減少セシメ、土地ノ生産力ヲソレダ落ス譯デアリマシテ、

ハ管理、更ニ進ンデハ國營ト云フ問題ガ論議ノ對象ニナルコトハ御承知ノ通リデアリマス、ソコデ國營ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ先般農林大臣カラ本會議デ御説明申上ゲマシタ通りデアリマシテ、經濟安定本部ガ發足致シマシタ場合ニ、國營準備調査會等ニ於テキマシテ、國營ガ良イカ悪イカ、又假ニ國營デナケレバナラヌト云フ結論ニ達シタト致シマスレバ、其ノ方法ヲドウスルカ、斯ウ云フコトヲ慎重ニ御檢討願ヒタイト思ツテ居ルモノデアリマス、隨

テ製造會社ガ生産致シマシタ肥料ハ、總テ之ヲ統制機關デアアル日本肥料株式會社ニ必ズ賣リナケレバナラヌト云フコトニナツテ居リマシテ、其ノ賣リマシタ肥料ハ、國ノ意見ニ基キマシテ公正分配ヲ今致シテ居ルノデアリマスガ、此ノ場合ニ、生産シタ業者ニ對シマサル増強ノ方策デアリマス、此ノ生産増強ノ方策ニ付キマシテハ、是モ御承知ノヤウニ、戰爭中ハ軍需會社法ガ

問題デアリマスガ、御話ニアリマシタヤウニ、爾ハ見返リ物資トシテ、又將來ノ我が國ノ在リ方等ニ付キマシテ想像致シテ見マシテモ、貿易品トシテドウシテモ蠶絲ト云フモノハ保持シテ行カナケレバナラヌ問題デアアルノデアリマス、爾テ私共爾ハ食糧ナリト云フコトヲ只今言ツテ居ルノデアリマス、

ハナクシテ、實ハ綜合供出ト云フコトデアリマシテ、結局其ノ理由ガ食糧ニアル譯デアリマスカラ、爾テ爾ノ生産者ガ、他ノ生産者ト同ジヤウニ食糧ニコト缺カナイヤウニト云フ點ヲ政府トシテハ考ヘルト云フ方向ニ向ツテ進ンデ參リタイト考ヘマシテ、例ヘバ本年ニ於テキマシテモ、一ツ一貫目ニ付テ一升特配ヲシヨウ、尤モ是ハ食糧事情モ斯ウ云フ狀況デアリマスカラ、半分ハ取敢ズ出シ、アトノ半分ハ食糧事情ガ少シ緩和シマシテハ、養蠶農家ニ食糧不安ナク養蠶ニ專念出來ルヤウニ努メテ行キタイ、斯ウ云フコトヲ實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ全體ト致シマシテ、

マシマスガ、飼料問題ニ付キマシテモ、御話ニナリマシタヤウニ、是ハ從來ノヤウナヤリ方デ參ツテ居リマスト、食糧ト飼料ト云フモノガ食合ヒノ恰好ニナリマシテ、結局是ガ家畜、延イテ堆厩肥ノ原材料ヲ減少セシメ、土地ノ生産力ヲソレダ落ス譯デアリマシテ、

ハ管理、更ニ進ンデハ國營ト云フ問題ガ論議ノ對象ニナルコトハ御承知ノ通リデアリマス、ソコデ國營ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ先般農林大臣カラ本會議デ御説明申上ゲマシタ通りデアリマシテ、經濟安定本部ガ發足致シマシタ場合ニ、國營準備調査會等ニ於テキマシテ、國營ガ良イカ悪イカ、又假ニ國營デナケレバナラヌト云フ結論ニ達シタト致シマスレバ、其ノ方法ヲドウスルカ、斯ウ云フコトヲ慎重ニ御檢討願ヒタイト思ツテ居ルモノデアリマス、隨

テ製造會社ガ生産致シマシタ肥料ハ、總テ之ヲ統制機關デアアル日本肥料株式會社ニ必ズ賣リナケレバナラヌト云フコトニナツテ居リマシテ、其ノ賣リマシタ肥料ハ、國ノ意見ニ基キマシテ公正分配ヲ今致シテ居ルノデアリマスガ、此ノ場合ニ、生産シタ業者ニ對シマサル増強ノ方策デアリマス、此ノ生産増強ノ方策ニ付キマシテハ、是モ御承知ノヤウニ、戰爭中ハ軍需會社法ガ

問題デアリマスガ、御話ニアリマシタヤウニ、爾ハ見返リ物資トシテ、又將來ノ我が國ノ在リ方等ニ付キマシテ想像致シテ見マシテモ、貿易品トシテドウシテモ蠶絲ト云フモノハ保持シテ行カナケレバナラヌ問題デアアルノデアリマス、爾テ私共爾ハ食糧ナリト云フコトヲ只今言ツテ居ルノデアリマス、

ハナクシテ、實ハ綜合供出ト云フコトデアリマシテ、結局其ノ理由ガ食糧ニアル譯デアリマスカラ、爾テ爾ノ生産者ガ、他ノ生産者ト同ジヤウニ食糧ニコト缺カナイヤウニト云フ點ヲ政府トシテハ考ヘルト云フ方向ニ向ツテ進ンデ參リタイト考ヘマシテ、例ヘバ本年ニ於テキマシテモ、一ツ一貫目ニ付テ一升特配ヲシヨウ、尤モ是ハ食糧事情モ斯ウ云フ狀況デアリマスカラ、半分ハ取敢ズ出シ、アトノ半分ハ食糧事情ガ少シ緩和シマシテハ、養蠶農家ニ食糧不安ナク養蠶ニ專念出來ルヤウニ努メテ行キタイ、斯ウ云フコトヲ實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ全體ト致シマシテ、

マシマスガ、飼料問題ニ付キマシテモ、御話ニナリマシタヤウニ、是ハ從來ノヤウナヤリ方デ參ツテ居リマスト、食糧ト飼料ト云フモノガ食合ヒノ恰好ニナリマシテ、結局是ガ家畜、延イテ堆厩肥ノ原材料ヲ減少セシメ、土地ノ生産力ヲソレダ落ス譯デアリマシテ、

ハ管理、更ニ進ンデハ國營ト云フ問題ガ論議ノ對象ニナルコトハ御承知ノ通リデアリマス、ソコデ國營ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ先般農林大臣カラ本會議デ御説明申上ゲマシタ通りデアリマシテ、經濟安定本部ガ發足致シマシタ場合ニ、國營準備調査會等ニ於テキマシテ、國營ガ良イカ悪イカ、又假ニ國營デナケレバナラヌト云フ結論ニ達シタト致シマスレバ、其ノ方法ヲドウスルカ、斯ウ云フコトヲ慎重ニ御檢討願ヒタイト思ツテ居ルモノデアリマス、隨

テ製造會社ガ生産致シマシタ肥料ハ、總テ之ヲ統制機關デアアル日本肥料株式會社ニ必ズ賣リナケレバナラヌト云フコトニナツテ居リマシテ、其ノ賣リマシタ肥料ハ、國ノ意見ニ基キマシテ公正分配ヲ今致シテ居ルノデアリマスガ、此ノ場合ニ、生産シタ業者ニ對シマサル増強ノ方策デアリマス、此ノ生産増強ノ方策ニ付キマシテハ、是モ御承知ノヤウニ、戰爭中ハ軍需會社法ガ

問題デアリマスガ、御話ニアリマシタヤウニ、爾ハ見返リ物資トシテ、又將來ノ我が國ノ在リ方等ニ付キマシテ想像致シテ見マシテモ、貿易品トシテドウシテモ蠶絲ト云フモノハ保持シテ行カナケレバナラヌ問題デアアルノデアリマス、爾テ私共爾ハ食糧ナリト云フコトヲ只今言ツテ居ルノデアリマス、

ハナクシテ、實ハ綜合供出ト云フコトデアリマシテ、結局其ノ理由ガ食糧ニアル譯デアリマスカラ、爾テ爾ノ生産者ガ、他ノ生産者ト同ジヤウニ食糧ニコト缺カナイヤウニト云フ點ヲ政府トシテハ考ヘルト云フ方向ニ向ツテ進ンデ參リタイト考ヘマシテ、例ヘバ本年ニ於テキマシテモ、一ツ一貫目ニ付テ一升特配ヲシヨウ、尤モ是ハ食糧事情モ斯ウ云フ狀況デアリマスカラ、半分ハ取敢ズ出シ、アトノ半分ハ食糧事情ガ少シ緩和シマシテハ、養蠶農家ニ食糧不安ナク養蠶ニ專念出來ルヤウニ努メテ行キタイ、斯ウ云フコトヲ實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ全體ト致シマシテ、

マシマスガ、飼料問題ニ付キマシテモ、御話ニナリマシタヤウニ、是ハ從來ノヤウナヤリ方デ參ツテ居リマスト、食糧ト飼料ト云フモノガ食合ヒノ恰好ニナリマシテ、結局是ガ家畜、延イテ堆厩肥ノ原材料ヲ減少セシメ、土地ノ生産力ヲソレダ落ス譯デアリマシテ、

ハ管理、更ニ進ンデハ國營ト云フ問題ガ論議ノ對象ニナルコトハ御承知ノ通リデアリマス、ソコデ國營ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ先般農林大臣カラ本會議デ御説明申上ゲマシタ通りデアリマシテ、經濟安定本部ガ發足致シマシタ場合ニ、國營準備調査會等ニ於テキマシテ、國營ガ良イカ悪イカ、又假ニ國營デナケレバナラヌト云フ結論ニ達シタト致シマスレバ、其ノ方法ヲドウスルカ、斯ウ云フコトヲ慎重ニ御檢討願ヒタイト思ツテ居ルモノデアリマス、隨

テ製造會社ガ生産致シマシタ肥料ハ、總テ之ヲ統制機關デアアル日本肥料株式會社ニ必ズ賣リナケレバナラヌト云フコトニナツテ居リマシテ、其ノ賣リマシタ肥料ハ、國ノ意見ニ基キマシテ公正分配ヲ今致シテ居ルノデアリマスガ、此ノ場合ニ、生産シタ業者ニ對シマサル増強ノ方策デアリマス、此ノ生産増強ノ方策ニ付キマシテハ、是モ御承知ノヤウニ、戰爭中ハ軍需會社法ガ

問題デアリマスガ、御話ニアリマシタヤウニ、爾ハ見返リ物資トシテ、又將來ノ我が國ノ在リ方等ニ付キマシテ想像致シテ見マシテモ、貿易品トシテドウシテモ蠶絲ト云フモノハ保持シテ行カナケレバナラヌ問題デアアルノデアリマス、爾テ私共爾ハ食糧ナリト云フコトヲ只今言ツテ居ルノデアリマス、

ハナクシテ、實ハ綜合供出ト云フコトデアリマシテ、結局其ノ理由ガ食糧ニアル譯デアリマスカラ、爾テ爾ノ生産者ガ、他ノ生産者ト同ジヤウニ食糧ニコト缺カナイヤウニト云フ點ヲ政府トシテハ考ヘルト云フ方向ニ向ツテ進ンデ參リタイト考ヘマシテ、例ヘバ本年ニ於テキマシテモ、一ツ一貫目ニ付テ一升特配ヲシヨウ、尤モ是ハ食糧事情モ斯ウ云フ狀況デアリマスカラ、半分ハ取敢ズ出シ、アトノ半分ハ食糧事情ガ少シ緩和シマシテハ、養蠶農家ニ食糧不安ナク養蠶ニ專念出來ルヤウニ努メテ行キタイ、斯ウ云フコトヲ實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ全體ト致シマシテ、

マシマスガ、飼料問題ニ付キマシテモ、御話ニナリマシタヤウニ、是ハ從來ノヤウナヤリ方デ參ツテ居リマスト、食糧ト飼料ト云フモノガ食合ヒノ恰好ニナリマシテ、結局是ガ家畜、延イテ堆厩肥ノ原材料ヲ減少セシメ、土地ノ生産力ヲソレダ落ス譯デアリマシテ、

乳牛ノ場合ニ、其ノ乳牛ヲ飼養シテ居
リマスル農家ニ對シテハ、供出ヲサセ
ナイ細ヲ認メルカ、或ハ供出シタ牛乳
ニ應ジテ麥其ノ他ノ飼料ヲ還元スル
カ、ドチヲ案ヲ探ルカト云フコトニ
付キマシテ業者ノ方々ノ御意向ヲ伺
ツタノデアリマスガ、結局牛乳ヲ出シ
タ場合ニ麥ヲ還元シテ貰フコトヲ方法
ヲ欲スル向キガ多クタノデ、唯今申
上ゲマシタヤウナ方策ヲ探ツタノデア
リマス、併シ全體ノ問題ト致シマシ
ハ今申シマスヤウニ、從來ノデリ貧政
策カラ出來ルダケ早ク昔ニ戻ルヤウナ
方向ニ行キタイト考ヘテ居ルノデア
リマス、又開墾地ノモノニ付テ、之ヲ
ウ云フ風ニヤッテ行クカト云フコトニ
付テノ御意見等モ承ツタノデアリマス
ガ、是等ノ問題ハ能ク檢討サシテ戴キ
タイト存ズルノデアリマス、併シ開墾
地ノ經營ニ付キマシテハ、是ハ御承知
ノヤウニ、非常ニ生産力ノ少イ、又酸
性ノ多イ土地ニ付テ今後開墾ヲヤッテ
行カレバナラヌ譯デアリマスカラ、
結局是等ノ地方ニ於キマシテハ、
ドウシテモ家畜ヲ導入シ、有畜農業ト
云フコトヲ相當強度ニ取入レマセヌ
ト、是カラノ開墾地ニ於キマスル農業
經營ノ觀點カラ見マシテモ、又土地ノ
生産力ヲ維持シテ行ク、或ハ改善シテ
行クト云フ觀點カラ見マシテモ、ドウ
シテモ此ノ問題ハ併セテ考ヘナケレバ
ナラヌ問題ダト存ジテ居ルノデアリマ
ス

ルノデアリマスガ、此ノ入レマス方ノ
米ハ入ツテ居リマスケレドモ、主原料
デアリマス大豆ト云フヤウナモノハ五
千萬石ト申上ゲマシタ數字ニハ入ツテ
居ラナイノデアリマス、醬油ニ付キマ
シテモ同様デアリマス、是等ノ大豆其
ノ他ノ原材料ノ確保ト云フコトニ付キ
マシテハ、私共ノ方トシテハ別途考ヘ
テ行キタイト存ジテ居リ、現状ハ是等
ノ原材料ガ非常ニ窮乏致シテ居リマス
ノデ、聯合軍ノ援助ヲ懇請シテ居ルヤ
ウナ狀況デアリマス、ソレカラ人口増
ノ問題デアリマスガ、本年ハ海外ヨリ
ノ歸還者等ニ付キマシテハ、其ノ方ノ
擔當ノ部局カラノ報告ニ基キマシテ、
海外復員者ノ數ハ總込シテ居ルノデア
リマスガ、同時ニ人口ノ自然増ト云フ
モノヲ大體年間七%位ヲ見テ居ルノデ
アリマス、斯ウ云フコトデ本年ハ需給
ノ推算ヲ立テテ居ルノデアリマス、是
ハ昨日モ申上ゲマシタヤウニ、今後ヤ
ハリ人口ハドンドン殖ニテ行ク譯デア
リマスカラ、ソレニ即應シテ此ノ五千
萬石ト云フ數字モ變ツテ來ルト云フコ
トニナル譯デアリマス、尙ホ五千萬石
ハ二合一ウ「ベース」ニシテ居ルカド
ウカト云フ御尋ネデゴザイマシタガ、
現状ノ此ノ二合一ウデ行ケバ五千萬石
デアル、併シ是モ昨日申上ゲマシタヤ
ウニ、將來之ヲ預ニ戻シ、二合一ウヲ
殖ヤシテ行クト云フコトニナツテ参リ
マスレバ、當然此ノ五千萬石ト云フ數
字ハ殖ニテ參ル、斯ウ云フ風ニ御諒承
願ヒタイト思ヒマス

○岩本委員 唯今肥料ノ問題ニ付テ御
答ヘガアリマシタガ、今日ノ時局ハ、
モウ食糧増産ニ付テハ其ノ一點ニ掛ッ
テ居ルノデアリマシテ、唯今ノ御話ヲ
聴キマス、國家管理ノ極ク一面ヲ扱
ツテ居ルト云フヤウナ行キ方ノ、國家
管理ニ準ジテ居ルヤウデアリマスガ、
丁度戰爭中ノ軍需會社法ノヤウナ、凡
ユル工場ヲ飛行機製造一本ニ轉換サセ
タト云フ、ア、云フ意味ニ持ツテ行カ
ナケレバ肥料ノ問題ハ解決シナイト思
フノデアリマシテ、隨テ軍需會社法ニ
準ジタヤウナ食糧確保會社トモ申シ
マスガ、サウ云フ意味ノ會社ヲ作ッ
テ、ソレヲ國家ガ扱ツテ行クト云フ位
マデ行カネバ駄目ダと思フノデアリマ
ス、國營ノ研究モアリ、民營ノ是非論
モアリマスカラ、サウ云フ風ニ私ハ思
ヒマスガ、尙ホ慎重ニ其ノ點ニ付キ御
考ヘテ願ヒタイト置キマス

○尙ホ 爾ノ綜合供出制ニ付キマシテ
ハ、生産者ノ食糧ニ事缺カナイヤウニ
ト云フ程度ノ考ヘ方デハ絕對殖ニテ參
ラスト私ハ思フ、併シナガラ生産者ニ
本當ニ事缺カナイ程度マデ扱ツテヤレ
ルノナラ、ソレハ理想ニ行クノデアリ
マスケレドモ、十貫目出シテ何升ダ、
先程申上ゲマシタヤウニ、一貫二百目
ノ蕎麥ト一俵ト丁度交換ニナルモノ
ヲ、十貫目出シテ何升ダケヲ生産者ニ
與ヘルト云フヤウナ生糸イコトデハ駄
目ダと思ヒマス、是ハ再質問致シマセ
ヌケレドモ、其ノ點ハモット慎重ニ御
考ヘテ願ヒタイト思フ、ソレダケ申上
ゲテ置キマス

○成島委員長 叶占君
○叶委員 質問ニ先ダチマシテ、議事
進行ニ付テ委員長ニ希望意見ガアリマ
ス、農林省關係ノ法案ハ數々出ルサウ
デアリマスノデ、私ノ質問ハ大體要點
ニ止メタイト思フノデアリマスガ、
尙ホ其ノ討論ニ觸レナケレバナラナイ
問題ガ多クアルノデアリマスガ、ソ
レハ尙ホ機會ヲ得テ發言シテ宜シウゴ
ザイマスガ

○成島委員長 結構デゴザイマス
○叶委員 現在ノ凡ユル問題ガ一ニ増
産、二ニ増産、三ニ増産、總テ増産ニ
懸ツテ居ルト信ズルモノデアリマスル
ガ、食糧緊急措置令ニ關シマシテ、農
村ニ於キマスル増産ノ面、其ノ農村ニ
於キマスル所ノ食糧ヲ如何ニシテ都市
ニ持ツテ行キ、又農村ニ於テ生産ニ從
事致シテ居リマス所ノ耕作農民ガ安
ジテ食糧ノ増産ニ勵ミ得ルヤウナ、サ
ウ云フ缺クベカラザル所ノ品物ヲ都市
ノ労働者諸君カラ運シテ來テ貰フ、サ
ウ云フ物ト物トノ交流面ニ於キマシ
テ、特ニ農村ノ面ヲ強ク反映致シマシ
テ御質問申上ゲタイト存ズル次第デア
リマスガ、質問事項ニ付キマシテ
ハ、第一ニ土地ノ問題、是ハ農林大臣
ニ御伺ヒタイノデアリマス

第二ニ農民組織ノ問題、是モ同ジク
農林大臣ニ御質問申上ゲタイト思ヒマ
ス、次ニ第三ト致シマシテ食糧ノ問
題、是モ農林大臣ニ御伺ヒタイノデ
アリマスガ、大別致シマシテ米麥其
ノ他食物ニ關スル問題、供出、強權發
動ノ問題、又相當ノ問題、第二項ト致
シマシテハ、青果、魚介其ノ他副食物
ニ關スル問題、此ノ點ニ付キマシテハ
集荷ト配給ノ面ニ付テ御質問申上ゲタ
イノデアリマスガ、自由販賣ヲ斷行サ
レマシタル時ノ農林次官デアリマス現
厚生大臣ニ、現在ノ心算、御考ヘヲ一
ツ御伺ヒタイト、特ニ希望スル次第
デアリマス、第四ニ肥料、農機具、資
材ノ問題、特ニ國營ノ問題ニ付キマシ
テハ、農林大臣、商工大臣、兩御者ノ
代表的御意見ヲ一ツ聽カセテ戴キタイ
ノデアリマス、第五ニ價格ノ問題、是
ハ三、四、五ト關聯スル譯デアリマス

ノ不完全ト米價ノ他物價トノ不均衡、
斯ウ云フコトデアリマス、質問ニ入
ル前提トシテ、農林當局ニ對スル希望
デアリマスガ、何ト申シマシテモ、
如何ナル良方ヲ立テ、如何ナル論
議ヲ行ハシテモ、結局ハ人ノ問題
デ、推進力ト斷乎決意ヲ以テ之ヲヤ
リ通スト云フ熱意ナシニハ何モ出來ナ
イ譯デゴザイマシテ、當農林省關係ノ
委員會ニ於キマシテ、農林省ヲ中心ト
シテ青年官吏諸君ガ現在ノ食生活ノ
解決ノ爲ニ猛烈ニ刷新運動デモ起サレ
テ、一ツノ大イナル目的ニ向ツテ邁進
セラレシコトヲ先ツ希望ノ申上ゲル
次第デアリマス

昭和二十一年二月十七日ノ緊急勅
令、食糧緊急措置令ハ「帝國憲法第八
條第一項及第七十條第一項ニ依リ」云
ト書イテゴザイマスガ、此ノ帝國憲
法第八條第一項及第七十條第一項ヲ
讀ムデマスト「天皇ハ公共ノ安全ヲ保
持シ又ハ其災厄ヲ避クル爲緊急ノ必要
ニ由リ帝國議會開會ノ場合ニ於テ法律ニ
代ルヘキ勅令ヲ發ス」次ニ第七十條ノ
第一項デアリマスガ、「公共ノ安全ヲ
保持スル爲緊急ノ需用アル場合ニ於テ
内外ノ情形ニ因リ政府ハ帝國議會ヲ召
集スルコト能ハサルトキハ勅令ニ依リ
財政上必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得」斯
ウ云フ風ニ書カレテ居リマス、ソレデ
先ツ御質問申上ゲタイコトハ、此ノ緊
急勅令ノ理由ト致シマシテ、食糧供給
ノ逼迫シタ狀況ニ鑑ミテ、主要食糧ノ
收用其ノ他食糧ノ供出ノ促進、配給ノ
公正化等ヲ圖ル措置ヲ講ズル緊急ノ必
要ガアツタ爲メ、斯ウ云フ文章ガアル
デアリマスガ、私共ノ考ヘ方カラ致
シマス、ドウモ政府ノ農民大衆ニ對
シマスル所ノ考ヘ方ト申シマスルカ、

私共ガ感得スルモノハ、政府ハ、ナゼ
ニ農民ノ愛國心ニ全面的ニ信頼シ、協
力ヲ求メナイノカ、斯ウ云フ感想デア
リマス、憲法第八條第一項、第七十條第
一項ト食糧緊急措置令トノ關係ヲ、モ
ウ一度御説明ヲ願ヒタイ、斯様ニ在リ
テ共ニ祖國ノ苦難ニ心身ヲ捧ゲ盡スト
云フ所ノ熱意ヲ持チ、サウシテ此ノ
緊急勅令ナンカハ、從來特權階級ガ民
衆ニ對シマスル所ノ、衰弱ノ補ニ隱レ
テ發シマシタ所ノ一ツノ法律提出ノ方
法デアリマシテ、之ヲナゼ今日唯今
デモ、此ノ農民大衆ニ對シマシテ、本
會議ニ於キマスル所ノ農林大臣ノ發言
ヲ聽イテ見マシテモ、之ヲ嚴守シヨウ
ト云フ所ノ熱意ヲ持ツテ居ルノハドウ
云フコトナノカ、斯ウ云フコトニ付テ
先ツ御質問申上ゲル次第デアリマス、
○補見政府委員 御答ヘ申上ゲマス、
食糧緊急措置令ノ制定ヲ致シマシタ當
時ノ狀況並ニ其ノ理由ト云フコトニ付
キマシテハ、本會議並ニ此ノ委員會ノ
劈頭ニ於キマシテ、農林大臣カラ申上
ゲマシタ通りデアリマスガ、唯今叶サ
シカラ御尋ネデゴザイマシタノデ、モ
ウ一度此ノ點ヲ申上ゲテ見タイと思フ
デアリマス、御話ニナリマシタヤウ
ニ、本來此ノ供出ト云フモノハ、盛上
ル愛國心、或ハ同胞愛ト云フモノニ依
リテ之ヲ解決スルノガ本筋デアアル譯デ
アリマス、併シナガラ其ノ情勢ハ然ラ
バドウデアツタカト申セバ、結局總テ
ノ農民トハ申シマセガ、一部ノ農民
ノ間ニハ、極メテ日和見ノ態度ガ多
カッタデアリマス、是ハ叶サンモ能
ク御承知ノ通りデアリマシテ、何處ノ
村内デモ、一人カ二人極メテ不具ナ人
ガ居ルノデアリマスガ、此ノ人達ガ出

サナイ、サウシテ之ヲ供出セズシテ闇
ニ流シテ居ル、正直ナ人ハ供出割當ヲ
完了スルノデアリマスガ、此ノ一人、
二人ノ極小數ノ人々ノ存在ト云フモ
ノガ、非常ニ惡影響ヲ與ヘタノデア
リマス、具體的ニ申セバ、例ヘバ一昨
年モアノ人達ハ何等ノ處分モ受ケズ、堂
堂ト闇ヲヤツテ居ツタ、去年モサウデ
アツタ、今年モ亦サウ云フ風ナコトデア
ル、斯ウ云フコトデハ、我々ハ一生懸
命、國ノ食糧事情ガ苦シイカラ出サウ
ト思ツテモ、ア、云フ人ガ存在シテ居
ル以上ハ出セヌ、馬鹿ラシイ、斯ウ云
フノガ本當ニ農村ニ於ケル弊デアツタ
デアリマス、私モ直接農村人カラサ
ウ云フ話モ伺ヒマシタ、尤モ色々其ノ
前ニ割當ノ公正、或ハ不十分デアルト
云フヤウナ問題モアリマスケレドモ、
日和見ノ態度ヲ執リ、馬鹿ラシイ、其
ノ氣持ヲ持ツタ最モ大キナ理由ハサウ
云フ點ニアツタノデアリマス、政府ハ
ナゼ斯ウ云フ惡徳ナ、惡質ナ農家ヲヤ
ラナイノダ、我々バカリヲ出セ、ト
言ツテ責メテ、斯ウ云フコトヲドウシ
テヤラナイノダト云フノガ一般ノ弊デ
アツタト私ハ承知シテ居ルノデアリマ
ス、隨テ斯ウ云フコトカラ致シマシ
テ、現實ノ此ノ集荷ノ狀況ヲ御覽願
レバ、是ハ一目瞭然デアアル譯デアリマ
スガ、結局米ハ極メテ、併シ出テ來ル
ノハ少イ、サウシテ是ガ關ニ流レルト
云フコトニナリマス、此ノ場合ニ、當
時其ノ關ハ一體ドウ云フ方面ニ流レタ
カ、勿論所ニ依リマシテハ普遍的ニ流
レタ場合モゴザイマセウケレドモ、極
ク一部ノ人々ノ所ニ流レテ居ル、斯ウ
云フコトニナツテ參リマス、ソレガ
又價格ヲ吊上ゲ、結局是モ先程岩本
サンニ御話申上ゲタノデアリマス

ガ、例ハ違ヒマスケレドモ、惡循環ニ
惡循環ヲ重ネテ、結局國民全體ガ非常
ニ飢エト云フコトニナリマシテ、當
時ハ外國カラノ食糧ヲ輸入ハシテ貰
ルト云フ原則ノ許可ハアツタノデア
リマスガ、併シ何時入ツテ來ルカト云
フコトハ當時分ラナカッタノデアリマ
ス、ソコデ確實ニ輸入食糧ヲ得ラレ
クレドモ、入ツテ來ルマデノ間ハ、何
トシテモ國內デ食ヒ繋イデ參リマセ
ト由タシキ事態ニナリ、食糧供給ノ破
綻ハ結局公共ノ安寧秩序ト云フモノ
ニ、極メテ重大ナ、直接的ナ影響ヲ持
ツテ參ル、斯ウ云フコトカラ致シマシ
テ、緊急勅令ノ御制定ヲ仰イダヤウナ
次第デアリマス、又財政上ノ處分ノ關
係ニ付キマシテハ、政府ハ其ノ米ヲ需
給特別會計計買収致シマスノデ、此ノ
方ノ財政上ノ關係カラ致シマシテ、其
ノ條項ニ該當致シマスノデ、併セテ是
モ原因ト致シマシテ御制定ヲ仰イダ、
斯ウ云フコトニ相成ツテ居ルノデアリ
マス、當時ノ供出ノ狀況、又農村ニ於
ケル一般ノ風潮並ニ中間指導者ノ一部
ノ人々ノ風潮、斯ウ云フモノヲ能ク振
返ツテ御考ヘ願ヒマス、結局此ノ緊
急勅令ハドウシテモ國ヲ救フ爲ニハ已
ムヲ得ザルノ處置デアツタト云フコト
ガ十分御諒承願ヘルコトト思フノデア
リマス

○委員 農林次官ノ御發言ニ對シ
テ、私モ二十年近く農民運動ヲヤツテ
來タモノデアリマスノデ、實情ヲ能ク
知ツテ居ル譯デアリマス、遺憾ナガラ
農林次官ノ御發言ノ趣旨ニ反スルヤウ
ナ事態ヲ我々ハ多ク見聞シテ居ル譯デ
アリマス、或ル老農ハ斯ウ云フコトヲ
言ツテ居ルノデアリマス、即チ戰爭中
ノヤウナ、警察ノ諸君ガ土足ヲ以テ農
家ニ供出其ノ他ノ壓制ヲヤルコトガ出
來ナクナツタノデ、政府ハ斯ウ云フ風
ノ緊急勅令ヲ出シテ我々農民ヲイデメ
ルノデハナイカ、斯ウ云フコトヲ言ツ
テ居ルノデアリマス、寧ロ私共ノ見聞
致シマスル所ニ依リマス、相當餘剩
米ヲ持ツテ居ル所ノ農家ハ中農以上ノ
人達デアリマシテ、サウ云フ人達ハ供
出ヲスルコトモ出來マスルシ、又餘剩
ヲ自分ノ親類縁者ニ分ツタケノ餘裕ヲ
持ツテ居ル譯デアリマス、所ガ私ガ河
内ノ農家ニ於キマシテ實際ニ見聞致シ
マシタル所デハ、五段百姓以下ノ百姓
ト申シマスモノハ、自分ノ一家族ガア
リマスナラバ、必ズ外ニ賃金勞働或ハ
女工ニ行クト云フ風デ、現金收入ノ途
ヲ講ジテ居リマシテ、眞面目ニ政府ガ
要求スルヤウナ供出ニ關スル食物ヲ作
シテ居ルヤウナモノ、サウ云フヤウナ五
段百姓ハ、都會ノ人達ガ考ヘテ居ル程
ソレ程宜イモノデハナイノデアリマ
ス、實際戰火ニ燒カレマシタル所ノ親
戚ヲ抱ヘ、自分ノ子弟ハマダ戰戰カ
歸ツテ來ナイト云フヤウナ悲慘ノ農家
ガ、秋ニ收穫スル爲ニ既ニ新米ヲ借り
テ食込シテ居ル、ソレガ一年、二年、
五年、十年ト重ナル譯デアリマスガ
ラ、供出ナンカモ十分出來ナイノデア
リマス、サウ云フ所ニ對シマシテ強權
發動ノ令狀ガ執行サレル、ヤハリ官吏
モ血モアリ涙モアル譯デアリマスガ
ラ、其處ハ參リマス、トシデモナイ
實情デアルカラ、一應出シタコトニシ
テ置ケ、還元米ヲヤリマセウ、斯ウ云
フコトデ解決ヲ見テ居ルノデアリマ
ス、私モ實際足ヲ運シタ所ガ二箇所ヤ
三箇所デハナイノデゴザイマシテ、農
林當局カラ出サレテ居リマス所ノ資料
ニ依リマス、大阪ニ於キマシテハサ

ウ云フ所ハナイト云フ風ニ統計ニ出テ
居リマスケレドモ、ソレハ私共ガ賢明
ナル當局ノ人達ト實際ニ折衝シテ所
ガ、此ノ數字ノ上ニ於キマシテハ、出ル
ト云フ形ニナツテ現ハレテ居ル譯デア
リマス、時間ノコトモアリマスノデ論
旨ヲ進メマスガ、遺憾ナガラ農林次官
ノ仰シヤツテ居ルコトト反對ノ現象ヲ
我々ハ多ク見聞シテ居ルト云フコトヲ
申シタイト思フデアリマス

ソレカラ土地問題デゴザイマスル
ガ、先ヅ第一ニ當局ノ持つ土地改革ノ
構想ト云フモノヲ一ツ御聴キシタイト
思ヒマス

○補見政府委員 土地問題ニ付キマ
シテハ、現在關係方面トモ色々折衝中
デゴザイマシテ、近ク此ノ議會ニモ提
出ノ運ビニナラウト思フデアリマス
ガ、唯今ハ申シマシタヤウナ經過ニ
ナツテ居リマスノデ、別ノ機會ニ御答
ヘ申上ゲタイト思ヒマス

○叶委員 農林次官ノ御答辯ハ豫テ私
ノ豫期シテ居ツタ譯デアリマスガ、新
聞デアリマスカ色々ナ點ニ付キマシ
テハ、農林當局ノ談トシテ出テ居ル譯
デアリマスガ、日本ニ於ケル代表の新
聞ナドニ發表サレテ居リマスル所ノ、
色々ナ農林當局ガ示シテ居リマス土地
改革ノ構想ヲ、大體農林當局諸君ノ御
考ヘニナツテ居ル構想デアルト私共ハ
考ヘテ宜イ譯デスカ

○補見政府委員 農林當局ノ意向ヲ新
聞等ニ發表致シタコトハ實ハゴザイマ
セヌ、是ハ御承知ノヤウニ、土地ノ問
題ハ非常ニ重要デアリマス同時ニ、
國際的ノ問題トシテ、是モ御承知ト思
ヒマスガ、對日理事會アタリデモ非常
ニ揉ンデ居ル問題デアリ、事柄ガ極メ
テ微妙デゴザイマスルノデ、農林當局

ト致シマシテハ新聞等ニハマダ發表ハ
シテ居リマセヌ
○叶委員 農地調整法ノ改正ガ昭和二
十年十二月二十八日ニナサレテ居ル譯
デアリマスガ、更ニ其ノ改正ノ意圖ガ
農林當局ニオアリニナル譯デアリマス
カ

○補見政府委員 先般御協賛ヲ得マシ
タ農地調整法ノ改正法律ニ付キマシテ
ハ、更ニ本年ノ三月十五日ヲ期限ト致
シマシテ司令部カラモ指示ガゴザイマ
シテ、從前ノ土地改革ニ付テ更ニ改善
ノ歩ヲ進メルト云フコトデ現在進ンデ
居リマス

○成島委員長 叶君、唯今厚生大臣ガ
見エマシタカラ、其ノ方ヲ先ニ御願ヒ
致シマス
○叶委員 ソレデハ厚生大臣ニ伺ヒマ
ス、實ハ「實業之日」ノ六月號ニ、我
ガ黨ノ河野密君ト河合厚生大臣ノ、資
本主義カ社會主義カト云フコトニ付キ
マシテノ御話ガ載ツテ居ル譯デアリマ
スガ、聞ク所ニ依リマス、當時ノ
生鮮食料品ノ自由販賣ヲ斷行サレタノ
ハ、厚生大臣ガ農林次官デアアリニナ
ツタ時デアルト云フ風ニ聞イテ居リマ
スガ、現在八大都市デ青果物ノ入荷ガ
問題ニナラナイ程少イデアリマス、
是ガ非常ニ大キナ問題ニナツテ居ル譯
デアリマシテ是ハ黨ノ意見ヨリモ、
私個人ノ見解トシテ御聴取リヲ願ヒタ
イト思ヒマスガ、現在ノ應急對策ハ非
常ニ大キナ問題デアリナイカト存ズルノ
デアリマス、昔カラナマ物ニ値ヒナシ
ト申シマシテ、鮮度ノ高イ生鮮物ノ取
扱ヒ方ト云フモノハ非常ニ難カシイノ
デアリマス、殊ニ現在ノ惡循環ナドニ
關聯致シマシテ、尤公ナドノ面カラ考
ヘマシテモ、凡ル觀點カラ見マシテ

モ、非常ニ難カシイ、又統制經濟ノ一
番弱イ環デアアルヤウニ私ハ見テ居ル譯
デアリマスガ、厚生大臣ハサウ云フ青
果物ノ集荷配給ニ付キマシテ、現在ド
ウ云フ考ヘヲ持つテ居ラレカト云フ
コトヲ御參考マデニ聴カセテ戴キタイ
ト思フデアリマス
ソレカラ、是ハ御願ヒデアリマス
ガ、工場ノ加配米ニ付テデアリマス、
大阪ノ實例デ申シマス、一般配給ガ
一箇月十八萬石要ル、一日消費シマス
ト約六千石、所ガ工場加配米一箇月ガ
約七千五百石デアリマスカラ、工場ニ
備イテ居ル労働者諸君ニ加配米ヲ一箇
月渡ス爲ニハ、全體ノ一日分ヲ割ケバ
宜イ譯デアリマス、現在農村ナドモ農
機具、肥料、色々ノ物ヲ作ツテ賣ヒタ
イ譯デアリマスガ、労働者諸君ノ胃ノ
腑ヲ空ツボニ致シテ置キマス、機械
ガ廻ラズニ眼ガ廻ルト云フ結果ニナル
ノデゴザイマシテ、此ノ點ニ付キマシ
テ厚生大臣ハ如何ナル御努力ヲ直接ノ
農林當局ト御折衝中デアリマスカ、
ソレモ序ニ御願ヒシタイト思ヒマス
○河合國務大臣 唯今「實業之日」ニ
付テノ御話デアリマスガ、實ハア
レハ私ガ厚生大臣ニナラヌ前ニ話シタ
ノデスカ、雜誌ノ出タノガ遅イモノデ
スカラ、厚生大臣ト河野密君トノ對談
ト云フコトニナツテ居ルデアリマシ
テ、其ノ點ヲ第一ニ御諒承願ヒタイノ
デアリマス
ソレカラ今青果物ニ付テドウ云フ考
ヘヲ持つテ居ルカト云フ御尋デゴザ
イマシタガ、是ハ實ハ私ノ所管デア
イモノデスカラ、其ノ儘私ノ考ヘヲ申上
ゲマスコトハドウカト思フ點モアリマ
スノデ、寧ろ私ガ其ノ撤廢ヲシマシタ
時ノ狀態ヲ申上ゲテ御推測ヲ願フ方ガ

適當デハナイカト思ヒマスノデ、左様
御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ガ農
林次官ニナリマシタノハ昨年十月四日
カ、御ゴザイマシタガ、其ノ前ノ情勢
ハ、御承知ノ通りニ、昨年夏カラ秋ノ
初メニ掛ケマシテ青果物、野菜、魚ト
云フモノハ殆ド市民ノ手ニ入ラヌ、當
時ノ數字ハ、魚モ野菜モ僅カニ一日一
錢分シカ入ラナイデ、アトハ皆買出シ
テ、ア、云フ風ニ難路シタト云フヤウ
ナ狀況デアリマス、ソレデアノ統制經
濟ト云フモノハ一ツノ型デアヤツテ行キ
マシテ結局行詰ルモノデアリマス、今
マデ統制經濟デ皆行ツタコトハ世ノ
中ニ一ツモナカラウト思ヒマスガ、其
ノ丁度行詰リノ頂點ニ來マシタカラ、
是ハイカスと思ツテ、長ノモノヲ裏ニ
引繰返シタ、是ハイカス、統制經濟デ
カラ一ハハアノ時ノ情勢デスカ一
ト云フノデ之ヲ撤廢シマシテ、司令部
ニ行ツテ十一月十五日ニ司令部ノ指示
ヲ受ケマシテ、十一月二十日カラ之ヲ
撤廢シタノデアリマス、サウシマス
ト、俄然品物ハ殖エマシタ、東京ニ集
ツタノハ例ヘバ十一月月上旬ニハ一日二
萬二千貫來テ居リマシタモノガ、之ヲ
撤廢シタ十一月下旬ニハ八萬二千貫來
テ居リマス、十二月上旬ニハ十二萬八
千貫、十二月中旬ニハ十三萬五千貫、
十二月下旬ニハ十一萬五千貫ト云フヤ
ウニ、野菜ノ數量ガ非常ニ増シタ、此
ノ點ハ私ハ宜カッタト思ヒマス、ソレ
ハ何ニ拘ラズ、兎ニ角市民ノ口ニ入レ
ナケレバ此ノ危機ハ脱セヌ、ソレデカ
ラ値ハ少々高クナツタモ、結局正當防
衛ノ爲メヤリマシタ結果入ツタ、ケレ
ドモ値ハ上リマシタ、尤モアノ時ノ公
定價格ガ大根一貫目二十六錢、協定價
格ニナリマシタモ二圓五十錢位、特別

ニ扱ツタモ二圓五十錢位デアツタガ、
値ハ十七、八圓、十數圓ト云フノモ出
マシタ、ソレカラ九圓、五圓ニ落著
キ、安イノハ三圓五十錢ト云フヤウニ
色々ナリマシテ、先ヅ十一月、十二月
中頃マデハ大シタコトハナカッタノデ
アリマスガ、其ノ後非常ニ暴騰シタ、
サウシテ野菜ノ冬枯レニナルモンデカ
ラ非常ニ暴騰シテ、一月半バ頃デシタ
カ、私ガ辭メル時ニハ大分高クナツ
テ、是ハ「インフレーション」致スルノダト
云フヤウナ色々ナ議論ガ起ツタ、是ハ
私ハ絕對的ニ良イト云フ信念デアツタ
譯デナク、行詰ツタ狀態ヲクルツト變
ヘナケレバナラヌト云フ信念デアツ
タ、ソレデ段々世間モ喧シクナツタ、
併シナガラ冬ノ眞最中ニナルカラ、是
ハ統制ヲシテモ、値ヲ高クシテモ出テ
來ナイ、ソレデ撤廢制度ヲ實施シヨウ
ト云フノデ、内閣ガ頻リニ協議シテ居
ル時ニ私ハ辭メタ、其ノ後私ノ考ヘヲ
モット「デベロープ」シテ撤廢制度ヲヤ
ツテ此ノ冬ヲ越シタト云フノガ實情デ
アリマス、當時ノ實情ヲ考ヘマスル
ト、ソレカラ色々ナコトガ言ヘル、統
制經濟ハ巧キヤラヌト、中々皆行カ
ヌモノダ、殊ニ青果物ハ兎モ角トシ
テ、魚ハ中々皆行カヌ、ト云フテ野
放シニシテ置クトヤハリ困ルコトモア
ル、ソレデアノ問題ノ爲ニ今マデコナ
ラカラ買出シ行ツタバジノ、ニナツ
テ居タモノガ、兎ニ角近在カラ東京ニ
出テ來ル「ルート」ガ出來タ、ソレデ廉
賣ニ依ツテ「ルート」ヲ獲得シタ、是デ
又元ヘ戻ツタ、ソコデ私ガ辭メタ後廉
賣制度ヲヤツテ、廉賣制度ヲヤツタ後
統制的ニ「ルート」ニ載セタ、斯ウ云フ
譯デアリマス、青果物ハ一ツノ生キ物
デ餘リ變テコナ統制モイカズ、ト云ツ

テ野放シモイカスト云フ問題デハナカラウカト思フ、此ノ點ニ關シテ、魚ノ方ハ御承知ノ通り非常ニ旨ク行ツテ居ル、ソレハ魚ト油ノ「リンク」制ニ依ツテ旨ク行ツテ居ル、是ハ當時カラ私ガ類リニ唱ヘテ居ツタコトデ、幸ヒニシテ聯合國ノ方デ非常ナ好意ヲ以テ毎月十一萬何千「トン」ノ油ヲ配給シテ呉ルノデ、ソレヲ魚ニ「リンク」シテヤツテ居ル、ソレヲ魚ノ方ハ「リンク」制ヲ中心ニシテ「ルート」ニ乗ツタト云フコトヲ申上ゲテ宜カラウト思ヒマス、所ガ野榮ノ方ニハサウ云ウコトガナイノデ、之ヲドウ云フ風ニシテ行ツタラ宜イカ、是ハ色々難カシイコトガアラウト思ヒマス

次ニ勞務加配ノ問題ニ付テ申上ゲマス、是ハ農林省ノ方ト厚生省ノ方ト密接ナル連絡ヲ取ツテ御協議申上ゲテヤツテ居リマス

○叶委員 出來ルデ御努力ヲ御願ヒシタイト思ヒマス、更ニ質問ヲ續行致シマス、土地問題ニ移リマス

農地調整法ノ改正方昭和二十年十二月八日ニ成立シタノデアリマスガ、此ノ出來マシタ農地調整法ノ第一條ヲ讀ンデ見マス中々立派ナコトガ讀ツテアル、「本法ハ互ニ補助ノ精神ニ則リ農地ノ所有者及ビ耕作者ノ他位ノ安定及農業生産力ノ維持増進ヲ圖リ以テ農村ノ經濟更生及農村平和ノ保持ヲ期スル爲メ農地關係ノ調整ヲ爲スヲ以テ目的トス」洵ニ結構ナコトガ讀ツテアルノデアリマス、所ガ四月二十五日、時ノ和田農政局長、詰リ現在ノ農林大臣ガ我々日本農民組合ノ關係代議士會ニ來ラレテ、御話ヲ承ツタノデアリマスガ、實ハ其ノ改正農地調整法ナルモノニ關シ、「マッカラーサー」司今部ノ指令

ニ依リ農林當局ニ於キマシテ立案サレタル云フ土地改革ノ噂ガ飛ビ出シマシテカラ、其ノ前ニ戰爭中田地、畑地ハ總テ棄失調ニ陥リマシテ、人手不足ノ爲ニ廢墟ト化スルノデハナイカト思ハレル方向ニ向イテ居ツタノデアリマス、所ガ内地ノ人口増加ト云フコトモ見越シマスルシ、更ニ失業ト云フヤウナ問題モ絡ンダ譯デアリマスガ、直接ノ動機ト致シマシテハ、此ノ農地調整法ガ一度出タルト云フ噂ニ依リマシテ、非常ナ國內ニ土地爭奪戰ガ出現シタ譯デアリマス、ソレハ大體土地取上ノ問題トナツテ現ハレテ居ルノデアリマス、和田農政局長曰ク、昭和二十年一月カ

ラ八月マデ土地取上要求件數ガ九千七百件、土地返還要求件數ガ三千四百件、終戰直後ノ八月十六日カラ十二月三十一日マデニ土地取上要求件數ガ五萬八千七百件、約二萬四千七百町歩、土地返還要求件數ガ一萬七千八百町歩、其ノ町歩ガ一萬三千九百町歩、昭和二十年一月カラ我々當時ノ和田農政局長ト會ヒマシタ時ノ四月二十五日マデ

デ、土地返還要求件數アラウト云フ推定面積約一萬町歩弱アルト云フ御話デアリマシタ、是ハ農林當局ノ「アンテナ」ニ感得サレタ所ノ件數デゴザイマシテ、ソレ以外閣カラ聞、此ノ件數ニ上ラナイ所ノ土地取上ノ件數ハ非常ニ多イノデアリマス、而モソレガ中小地主ヲ中心トスル所ノ問題ニ化シテ居リマシテ、正ニ血ミドロノ鬭爭ニ轉化サレントシツ、アル狀態デアリマス、サウ云フ狀態ニ對シマシテ農林當局ハ如何ナル政治的ナ手ヲ打タレタカト申シマス、私共ノ聞イテ居リマスノデハ、土地返還禁止ノ通牒ヲ十二月中旬ニ出サレテ居ラシイノデアリマス、

所ガ一片ノ通牒デハ現實ノ問題ハ斷ジテ解決シテ居ナイノデアリマス、ソコデ農林當局ニ御尋ネスル譯デゴザイマスガ、此ノ農地調整法ノ改正ヲ繞リマシテ起リマシタ所ノ一切ノ農村ノ混沌タル狀態、其ノ中ノ最モ農民ノ生産意欲ヲ阻害シ、増産ノ障礙ニナツテ居リマス所ノ土地返還、其ノ他ニ付キ政府ハ八月十五日、終戰後ノ一切ノ不當土地取上ヲ、元ノ小作人ニ返シ、土地ノ賣逃ガ、闇價格ノ不當價格ニ依リ小作人ノ損失ヲ地主カラ吐出サセ、惡「ブローカー」ヲ處罰サレル意思ハナイカド

ウカト云フコトヲ御尋ネシタイノデアリマス、如何ナル進步的ナル法案モ、政治力ガソレニ伴ハナカツタラ何ニモナラナイ譯デゴザイマス、農民ガ土地ノ再分配ノ恩惠ニ與カル、土地ノ微笑ト云フモノハ甚ダ不思議ナモノデゴザイマシテ、農民ハソレニ依リマシテ毎日毎日汗水垂ラシテ働イテ居ル譯デゴザイマスガ、母ノ微笑ニ勝ル所ノ土地

其ノ母デアル所ノ土地ガ自分ノ手ニ入ルノダト云フ農地法ガ出マスルト、豈ニ圖ランヤ、地主ト小作人ノ血塗レノ鬭爭ト云フコトニナリマシテ、現在農地委員選舉モ行ハレズ、色々事情モゴザイマセウガ、ソレニ對シマス所ノ政治的ナ手モ打タズ、斯カル現實ニアル譯デゴザイマスガ、サウ云フ所ノ地主サンノ土地ノ賣逃ゲ、ソレカラ小作サンカラ不當土地取上、サウ云フモノノ跡始末ヲ政府ハドウ云フ風ニナサイマスガ、之ヲ一ツハツキリト御答ヘテ御願ヒシタイト思フノデアリマス、官吏ノ方ノ中ニモ非常ニ良心的ナル方モアル譯デゴザイマス、之ニ依リマス、私ハ誇大ナル所ノ言辭ヲ弄スルモノデナイト云フコトガ、ハツキリ證

明サレルト思ヒマス、ソレ讀ミ上ゲマス、是ハ奈良縣ノ經濟部長ガ市町村長、市町村農業會長、市町村農地委員會長殿宛ニ送ラレテ居ル所ノ指令デアリマス、ソレハ昭和二十一年五月十六日附トナツテ居リマス「小作地引上防正ニ關スル件、標記ノ件ニ付テハ曩ニ本年一月三十一日附ヲ以テ特ニ各位ニ此ノ種事件ノ取扱指導ノ上遺憾ノナイヤウ通牒ヲ致シ、ソレハ其ノ趣旨ニ副ヒ海處シテ戴イテ居ルモノトハ存ズルガ、市町村農地委員會議員ノ選舉モ延期ト相成リ、且又補付モ次第ニ迫ツタ今日、縣下各地ニ小作地引上ガ漸次増加シ紛議ヲ醸シ又ハ紛議ニ至ラズトモ泣癡入リノ土地ヲ奪ハレ又ハ奪ハレン

トシテ耕作上ノ不安ニ驅ラレ、折角準備シタ肥料モ施用ヲ躊躇シテ居ル實情デアリ、此ノヤウナ狀態ニ永ク放置スル時ハ刻下ノ食糧増産ノ急ナル際、減收ヲ來スノミナラズ、又一面小作農家ノ農業經營モ動搖ヲ來シ、農村平和保持モ困難ク究極タル、新生日本ノ建設モ期シ難キニ依リ、從來其ノ不償ニ耐ヘ耕作シ來リタル農家ノ耕作權ヲ十分尊重シ、今次ノ土地改革ノ趣意ニ違背ヲナサザルヤウ適切指導ト趣旨ノ普及徹底ヲ圖ルハ勿論、急ヲ要セザル小作地引上ニ付テハ、次期農地委員會委員ノ新ナル公選ヲ待チテ是ガ審議ヲナシタク、更ニ急ヲ要スルモノニアリテモ、次ノ諸點ヲ御留意ノ上處理ナ

サレタシ」云々其ノ次ハ略シマス、斯ウ云フヤウニ懇切ナル所ノ指令ヲ出サレタ所ノ奈良縣ノ經濟部長ノ如クモアルノデゴザイマスガ、併シナガラ私共ノ考ヘナケレバナラナイコトハ、從來ノ市町村長或ハ農業會ノ幹部、從來ノ農地委員ト云フモノハ、トモスレ

バ貧農ハ一人モナツテ居リマセズニ、土地ノ所有者ガ多クツタノデアリマス、人情ノ致ス所自分ノ意ニ滿タヌコトヲ村ノ衆ニ全部振レ廻スト云フコトハ、是ハ不可能デゴザイマシテ、斯カル所ニ農地法ガ改正ニナリマシタト云フコトモ、十分農民ニハ本當ノ意味ニ於テ理解サレテ居ナイノデアリマス、各人各様ノ利益ノ纏ハリ付キマシタ所ノ間違ツタ考ヘ方ヲ持ツテ居ルノデアリマス、殊ニ農民ハ「ラジオ」ヲ聴キ、新聞ヲ讀ムデハナイカト仰シヤイマセウガ、併シナガラ此ノ政府ノ言フコトハ、農民ノ氣ニ入ルヤウナコトハ戰爭中カラ一ツモナイ、デアリマスカラ農民ハ「ラジオ」ハ浪花節ヲ聴ク時ダケ掛ケル、アトハ政府ノ演説トナルト「スベツチ」ヲ切ルト云フヤウナ悲シムベキ狀態ニアル譯デアリマス、サウ云フ譯デ斯ウ云フ混亂ガ起ツテ居ルノデアラウトハ存ジマスルケレドモ、政府ハ斯カル農地ノ根本的ナ改革ヲナサントスル所ノ假ニ熱意ガアルトシマスルナラバ、何故斯カル混亂ヲ惹起スルヤウナコトヲ致シマシテ、一片ノ通牒ヲ以テ事足レリトシタノデアルカドウカ、此ノ點ヲ一ツ聴キタイト思フノデアリマス、デアリマスルカラ私ハ質問ノ前提ト致シマシテ、農林當局青年官僚諸君ノ職起ヲ促シテ居ルノデアリ、此ノ八月十五日後ノ土地取上ニ關スル所ノ混亂ニ對シテ、政府ハ責任ヲ持ツテ實ハナケレバナラズ、元ニ民シテ實ハナケレバナラズ、サウ云フコトニ付キマシテ農林次官ノ確タル所ノ御返事ヲ御願ヒシタイト思ヒマス

○補見政府委員 是等ノ御尋ネニナリマシタヤウナ點ニ付キマシテハ、別ノ機會ニ農林大臣カラ御答ヘ申上ゲタ方

ガ適當デアラウト存ジマスノデ、私カ
ラハ御答ヘテ差控ヘタイト思ヒマス
ガ、色々御話ニナリマシタヤウナ點、
其ノ他ノ事柄等ヲ合ハセマシテ、農地
ノ改善案トシテ現在折衝ヲ續キテ居ル
ト云フコトダケヲ申上ゲテ置キマス
○叶委員 デハ農林大臣二十分御傳ヘ
テ御願ヒ致シマス、次ニ農民組織ノ問
題デゴザイマス、先ヅ第一ニ政府ハ今
議會ニ農業協同組合法案提出ノ準備ガ
アルヤニ聞キマスガ、政府ノ抱ク協同
組合ニ對スル理念ト、其ノ構想、目的
トヲ一ツ御覽キシタイノデアリマス
○補見政府委員 農業協同組合ノ問題
ニ付キマシテハ、色々團體制度ノ改革
等ニ付キマシテ、關係各方面ノ御意向
モ現ニ承ツテ居ルト同時ニ、ソレ等ヲ
中心ト致シマシテ尙ホ檢討ヲ致シテ居
ルヤウナ狀況デアリマス、今日只今ノ
所、此ノ議會ニ提出スルカドウカト云
フコトハ、確定ヲ致シテ居リマセヌ
○叶委員 ソレハ少シ角度ヲ變ヘテ
御質問申シマス、「マ」司令部ノ農民解
放令竝ニ之ニ關スル政府ヘノ指示、是
ハ全國農業會カラ出タ所ノ「プリント」
ニ依ツテ讀マデテアリマスガ、確カ
ニ「マ」司令部ノ農民解放令ノ中ニモ、
協同組合ト云フモノガ書カレテ居ルノ
デアリマスガ、「マ」司令部ノ農民解放
令ノ協同組合運動ト云フモノヲ、政府
ハ如何ナル具體的ナ形ニ於テ從來ノ古
イ組織ガ崩壊シ去ラントシ、新シイ日
本ノ農村ヲ建設スル爲ニハ、先ヅ農民
組織ガ問題ニナルノデアリマスガ、其
ノ面ニ於キマシテ協同組合ト云フモノ
ニ對シマシテハ如何ナル考ヘヲ持ツテ
居ルカ、之ヲ御覽キ、シマス
○補見政府委員 農業者ノ組織ヲ出來
ル限リ之ヲ民主化シテ參ルト云フコト

ガ、司令部ノ意向ノヤウデアリマス、
協同組合ト云フ言葉デアリマスガ、是
ハ例ヘバ現在ノ農業會モ謂ハ、農民ノ
爲ノ農業者ノ組織デアリマシテ、共ニ
協同組合モ、農業會モ、英語デ申セバ
同ジク「コーポラティヴ・アソシエー
ション」ニナル譯デアリマス、先程申
司令部ノ意圖致シマスル所モ、先程申
上ゲマシタ譯デアリマス、ソレ政府
化シテ參ル譯デアリマス、ソレ政府
ト致シマシテ先ヅ差當リノ措置トシテ
執リマシタコトハ、御承知ノヤウニ此
ノ前ノ議會ニ於キマシテ農業會ノ役員ノ
公選、直接選舉ニ依リマシテ市町村ノ
役員ヲ公選シテ行クコト、其ノ他色々
行政官職ノ權限ノ撤廢乃至縮減等ノ措
置ヲ講ジテ參ツタノデアリマス、農業
團體ノ問題ニ付キマシテハ、御承知ノ
ヤウニ戰爭前、又戰爭初期ノ間ニ於
テ、色々ナ團體組織ガゴザイマシタ、
之ヲ戰爭中農業會組織ニ統合致シマシ
テ、謂ハ、官製的ノ色彩ガ非常ニ強イ
ヤウナ團體ガ出來タノデアリマス、隨
テ之ヲ只今申上ゲマスヤウニ、出來ル
ダケ民主化スル爲ニ官製色ヲ拂拭スル
コトヲ先ヅ第一段トシテ進メテ參ツタ
ノデアリマス、第二段トシテ之ヲドウシ
テ行クカト云フコトニ付キマシテハ、
先程申上ゲマシタヤウナ次第デアリマ
シテ、現在尙ホ研究致シテ居ル狀況デ
アリマス
○叶委員 色々意見モアリマスルガ、
何レ論議ヲ重ネル機會ガアルト存ジマ
ス
次ニ農村民主化ノ原動力デアアル所ノ
日本農民組合ヲ其ノ主體トスル自主的
農民組織ヲ、政府ハ何ト御覽ニナツテ
居ルカト云フコトヲ一ツ端のニ御伺ヒ
致シマス

○補見政府委員 政府ト致シマシテハ
敬意ヲ表シテ居リマス
○叶委員 非常ニ嬉シイデス、ソレデ
ハ次ニ御尋ね致シマスガ、政府ハ農民
組合ト協力スル意思ハナイカ、方向ハ
民主的ノ日本農村ノ建設ト云フコトデス
ガ、如何デスカ
○補見政府委員 スウ云フヤウナ食糧
ノ非常時ノ際デアリマスカラ、此ノ非
常時突破ノ爲ニハ各方面ノ御協力ヲ仰
ガナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデア
リマス、今マデハ或ハ政府ノ申シマス
ル全體ノ食糧突破ノ爲ニ、或ル場合ニ
於テハ手ヲ引キ足ヲ引張ラレタヤウナ
向キモアツタノデアリマスガ、斯ウ云
フ際デアリマスカラ、總テノ御協力ヲ
得、隨テ當然農民組合等ノ協力モ請ハ
ナケレバナラヌト考ヘテ居リマス
○叶委員 農林次官ノ食糧ノ答辯カラ
尻尾ヲ掴ムコトハ中々難カシイヤウデ
スカラ、次ニ論議ヲ進メテ參リタイト
思ヒマス、食糧ノ問題デアリマス、先
ヅ第一ニ麥馬鈴薯等主食物ノ増產ノ
計畫ノ根幹ヲナス所ノ農民ノ生産意欲
ヲ振ヒ起スニハ、ドウ云フ風ニシタラ
宜イト云フコトヲ政府ハ御考ヘニナツ
テ居ルカ、之ヲ御尋ねシタイト思ヒマ
ス
○補見政府委員 生産意欲増強ノ問題
ニ付キマシテハ、色々各方面カラモ、
例ヘバ資材ノ問題、或ハ又價格ノ問
題、ソレカラ昨日モ色々御話ガゴザイ
マシタヤウニ生産物ノ處理ノ問題、其
ノ他各面ニ互リマシテ御意見ヲ伺ツテ
居ルノデアリマス、其ノ中ニハ昨日モ
一寸申シマシタヤウニ、全體ノ關係カ
ラ致シマシテ、又今後ノ在リ方カラ致
シマシテ、政府ト致シマシテハソレヲ
取入レルコトノ困難ナル問題モアラウ

カト存ズルノデモリマスガ、併シサウ
云フコトノナイ限リ、又出來ルダケ生
産意欲ヲ向上スル爲ニ、色々我々ニ聽
カシテ戴イテ居リマスル方策ハ講ジテ
參リタイ、斯ウ云フヤウニ實ハ考ヘテ
居ルノデアリマス、隨テソレ等ノ問題ニ
付キマシテ、例ヘバ土地ノ問題ニ付キマ
シテモ、又資材、肥料、農機具其ノ他ノ
資材ノ問題ニ付キマシテモ、或ハ又價
格ノ問題其ノ他ニ付キマシテモ、私共
ト致シマシテハ出來ル限リサウ云フ御
意見モ伺ヒ、又農民諸君ノ希望ニ出來
ルダケ一々トハ中々困難ノ場合モ
ゴザイマセウガ、出來ルダケソレニ副
フヤウニ努メタイ、斯様ニ考ヘテ居ル
次第デアリマス
○叶委員 甚ダ不満足ナ御答辯デアリ
マス、私ハ納カク考ヘテ居ナイノデア
リマス、農民ハ戰爭前ノヤウナ程度ニ
肥料ガアツタリ、或ハ地下足袋ノ配給
ニアリツクト云フヤウナコトハ考ヘテ
居ナイノデアリマス、都會ノ狀態ハ、
ヤハリ自分ノ血縁ヲ通ジテデモ能ク生
シク知ツテ居ルノデアリマス、自分
ノ娘ガ都會ニ嫁ニ行ツテ居ル、米ヲ一
升呉レ、二升呉レノ悲慘ナル要求ガ、
都市ノ血縁カラアル譯デアリマス
デ、總テ是レ勤勞大衆ノ悲慘デアリマ
シテ、働ク農民ハ能ク知ツテ居ル、
農民ノ生産意欲ヲ振ヒ起タスニハサウ
云フヤウナ、少盤ナ、甚ダ御挨拶的
ナ物ノ支給ニ依ツテノ農民ノ生産意
欲ガ振ヒ起ツト云フヤウニ農林當局ガ
考ヘテ居ルコト云フ風ニシカ取レナイ所
ノ其ノ答辯ハ、私共十分納得サスコ
トガ出來ナイ、農林當局ガ敬意ヲ表サ
シマシタ所ノ日本農民組合ノ一員ト致
シマシテモ、農民大衆カラ支持サレタ
所ノ、サウシテ此ノ議會ニ席ヲ持ツ所

ノ私ノ初メテノ發言トシテモ、絕對ニ
サウ云フ風ナ考ヘ方ニ付キマシテハ贊
成スルコトガ出來ナイノデアリマス
サウ云フ風ナ考ヘ方ヲ持ツテ居ルカラ
シテ、此ノ前ノ本會議ニ於キマシテ、
是ハ農林次官デハナシ、和田農林大
臣デアリマシタガ、曰ク、政府ハ傳家
ノ寶刀ト稱シ、供出ヲ強權發動ノ威嚇
ノ下ニヤラントスルガ如キ表現ニモ取
レルガ如キ表現ヲ持タレ、此ノ緊急勅
令ニ對シマス所ノ多分ノ御執心ヲ示サ
レタノデアリマス、傳家ノ寶刀トハ何
事ゾ、原子爆彈時代ニ、民主日本ノ第
一回ノ議會ニ於キマシテ、此ノ食糧緊
急措置令ノ緊急勅令ヲ以テ傳家ノ寶刀
ナリト自負スル所ノ農林當局ニ、果シ
テ現下ノ斯ウ云フヤウナ難關ニ立ツテ
二進モ三進モ行カナイ所ノ、此ノ袋小
路ニ迫込マレマシタル我ガ日本ノ食糧
問題ノ解決ト云フモノガ、本當ニ血ヲ
流サズニヤツテ行ケルカドウカト云フ
コトニ對シマシテ、非常ニ不安ノ念ニ
驅ラレタ次第デアリマス、傳家ノ寶刀
トハ官尊民卑以外ノ何モノデモナイデ
ハアリマセヌカ
次ニ御質問申ス次第デアリマスガ、
政府ハ劃當供出ヲ行ツテ行ク積リナ
デアリマスガ、或ハ自由の供出ヲヤツ
テ行クノデアリマスガ、其ノ何レノ途ヲ
執ラントスルノデアリマスガ、其ノ
點ヲ一ツ聽キタイト思フノデアリマス
○補見政府委員 生産意欲ノ問題ニ付
キマシテ誤解ガアルヤウデアリマスガ
ラ、此ノ際申上ゲテ置キタイト思フノ
デアリマス、政府ト致シマシテハ勿論
農民諸君ノ盛リ上ル救國精神デ以テヤ
ツテ參リタイ、斯ウ云フコトハ當然ノ
コトデアリマシテ、此ノコトハ既ニ新
聞等デ御承知願ツテ居ルコト存ズル

ノデアリマスガ、又或ハ御參加ヲ願フテ居ルコト存ジマスケレドモ、食糧緊急對策ニ於キマシテ、ハツキリト其ノ點ヲ明示シテ居ルノデアリマス、此ノ事柄ハ當然ノコトデアリマス、此ノ點ニ申上ゲナカッタノデアリマスガ、或ハ其ノ點ヲ全然無視シテ居ルト云フ風ニ御取リニナツタト致シマスレバ、非常ニ誤解デゴザイマス、特ニ申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス、唯此ノ場合ニ、常ニ私共ハ直接農民ノ方々カラ、又ソレ等ノ代表者ノ方カラモ伺ヒマスコトハ、幾ラ精神運動ヲヤツテモ駄目デヤナイカ、精神運動ハ勿論必要デアル、根本デアル、併シ精神運動ダケデ現在物ガ動クト思ツタラ間違ヒデヤナイカ、隨テ農民カラモ出シテ實フト同時ニ、農民ノ欲スル物モ與ヘナケレバイカヌデヤナイカト云フコトヲ能ク伺フノデアリマス、叶サンカラハ伺ツタコトハゴザイマセヌガ、叶サンノ同志カラモ伺ツタコトハアルノデアリマス、隨ヒマシテ根本ハ御話デザイマスルヤウニ救國ノ精神デ以テ、又同胞愛ノ精神デ以テ進マナケレバナラナイト思フノデアリマス、併シ今申シマスヤウニ、又一面政府トシテモ、其ノ勢ニ報ユル所ノコトハヤラナケレバイカヌト云フ意味デ申上ゲタルノデアリマスガ、此ノ點ハ誤解ガアルトイデケマセヌカラ特ニ申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス

傳家ノ寶刀ト云フコトニ付テノ御話モアツタノデアリマスガ、是ハドウモ今マデノ古來ノ日本語ヲ實ハ使ヒマシタ爲ニ、サウ云フヤウナコトデアリマシテ、決シテ是ハソレ以外ニ別ニ他意ガアツテ申シテ居ルコトデハナイノデアリマスカラ、此ノ點モ特ニ御諒ス

得テ置キタイト思フノデアリマス、ソレカラ割當ノ問題デアリマスガ、是ハ或ル程度食糧事情ノ現狀ノ下ニ於キマシテハ、上カラト下カラトガ、ヤハリ噛ミ合ハナケレバナラヌ問題デアラウト思フノデアリマス、一面カラ申シマス、國ノ需要ト云フモノモ考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、同時ニ此ノ下ノ方カラ見マシテ、生産量其ノ他カラモ之ヲ受ケテ行クト云フ、上カラト下カラトノ噛ミ合セノ問題ガ出テ來ヨウト思フノデアリマス、御諒ネノ民主的ノ問題デアリマスガ、是ハ勿論從來ノ戰爭中ニアリマシタヤウナ夫降リノナ、又秘密的ナ割當方法デイクナイコトハ當然ノコトデアリマシテ、民主的ノ問題ニ付キマシテハ、此ノ割當又出テ云フ上カラ下リ、又下カラ上ルト云フ方法ニ付キマシテ、當然民主的ナ方法デ以テ進ンデ行カナケレバナラヌト云フコトハ、全ク御話ノ通り私共モ同感ニ考ヘテ居リマス

○叶委員 次ニ御諒ネシタイコトハ、供出割當ノ府縣制ノ基礎ヲ何處ニ置カレテ居ルカト云フコトデアリマス、如何ナル基準ニ置カレテ居ルカ、其ノ數字ノ統計ニ誤リハナイカ、實ハ統計ト云フコトニ付キマシテハ、我々モ長イ間戰爭ノ準備期間中カラ、戰爭中カラ民間ニ於キマスル所ノ、農村ニ於キマスル所ノ色々ヲ調査ト云フモノガ絕對ニ阻メテ居リマシタ、終戦後ノ今日ニ至ツテモ、十分ナ統計ヲ我々自身持ツコトガ困難ナヤウナ實情ニゴザイマシテ、我々ハ官廳統計ニ對シマシテ、民間側ノ權威アル所ノ統計ヲ對比シテ論議スルコトガ出來ナイノ甚ダ遺憾ニ考ヘル譯デゴザイマス、輕ク聞イテ戴キタイト思フノデアリマスガ、農林省

等ニ於キマスル所ノ微ニ入り細ヲ穿ツテ居ル所ノ此ノ統計ノ基礎ト云フモノニ付キマシテ、私共農村ニ居リマスト云フト、色々ナ統計報告ト云フモノヲ作成シテ居ルノヲ見聞スルノデアリマスガ、多少ノ誤差ガアルノデアリマス、是ガ全國的ニ集計サレルノデアリマスナラバ、大イナル誤差ニナルノデハナカラウカ、斯ウ云フヤウナ感想ヲ持ツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ統計ニ依ラズレテモ、昨年度ノ產米ニ付キマシテハ、私共ハ斯ニナル感想ヲ持ツテ居リマス、例ヘテ申シマスト云フト、九州地方ノ農家ハ恐ラク昨年度ノ產米ノ田植時期ニハ、空襲下ニ於テ蠶災冠ツテ田植ヲヤツテ居ツタ管デアリマス、又私共ハ新聞ナシニ於テ眞實ヲ見テ居リマスケレドモ、除草モ碌々出來ナカッタ地帯ガアルノデアリマスカ、サウ云フ所ノ供出割當ナシカ、如何ナル所ノ基準ニ於テ供出割當ヲサツタノカ、サウ云フ點ニ於キマシテ供出割當ノ基礎、基準ト云フヤウナ點、サウ云フ統計ノ蒐集ノ御苦心談デモ結構デアリマスガ、サウ云フ點ニ付テ一ツ御答辯、願ヒタイト存ズル次第デアリマス

○片柳政府委員 私カラ綜合割當ノ點ニ付キマシテ御説明ヲ申上ゲマス、米麥等ノ割當ニ付キマシテハ、實ハ御指摘ノヤウニ生産高ノ把握ニ付キマシテ、毎年非常ニ苦慮ヲ致シテ居ルノデアリマス、過般實施致シマシタ本年ノ麥、馬鈴薯ノ生産供出割當ニ付キマシテモ、實ハ非常ナ苦心ヲ致シタ譯デアリマシテ、其ノ苦衷モ此ノ際ニ申上ゲバ御聞カセテ願ヒタイト思フノデアリマス、今年行ヒマシタ麥ト馬鈴薯トノ

割當ノ大體ノ考ヘ方ヲ申シテ見マスルト、先ヅ昨年度レマシタ所ノ米ナリ、或ハ半額ナリ、或ハ難穀ノ今日ノ殘存數量ヲ推定シマシタノデアリマス、推定ノ致シ方ハ、昨年ノ米或ハ麥等ニ付キマシテ、各府縣カラ供出ガサレマシタ數量ヲ控除シテ、控除シタモノカラ今日マデ何程ノ消費ガアツタデアラウト云フ推定ヲ致シマシテ、昨年ノ米ナリ麥等ノ今後ノ殘存數量ヲ第一ニハ推定ヲシタ譯デアリマス、ソレカラ第二ノ點ト致シマシテハ、今申上ゲマシタ間點ト、今年ノ麥ナリ或ハ馬鈴薯ノ生産見込ヲ加ヘマシテ、此ノ兩者ヲ合計シタモノノ中カラ、今後ノ農家ガ再生産ニ必要ナル勞務加増等ノ必要量ヲ殘シタモノヲ出シテ數ク、斯ニ計算各府縣トモ割當ヲ致シタ譯デアリマス、ソコデ先程官カラモ御答辯ガアリマシタガ、結局我々ガ一番苦慮致シマス點ハ、戰爭中カラ逐次主要食糧ノ生産統計ト云ヒマス、生産高ガ非常ニ實際ト遊離シテ居ル、更ニ端のニ申シマスレバ、實際ヨリモ非常ニ少ク出ルト云フ傾向ハ、是ハ皆サンモ大體御承知ト思フノデアリマス、昨年ノ實收高ハ冒頭ニ大臣カラモ説明ガアリマシタヤウニ、各府縣ガ食糧検査所等ヲ通ジマシテ、非常ニ精密ナ調査ヲヤツタ、之ニハ一點ノ間違ヒガナイト云フ結果ガ、實ハ四千萬石ヲ切ルト云フヤウナ、實ニ驚愕ト稱シテ宜イト私ハ思フノデアリマスガ、左様ナ非常ニ少イ數字ガ出テ居ルノデアリマス、此ノ點ハ總テ聯合國側ニ食糧ノ輸入申請ヲ致フニ付キマシテモ、左様ナ少イ數字デ輸入申請ヲ致スコトニ付キマシテハ、相當ナ惡影響ヲ持ツテ居ルノデアリマス、同様ナ「エラー」ガ本年ノ麥作ニ付テ

モ、略ク言ヒ得ルノデハナイカト云フ點ニ付キマシテハ、實ハ非常ニ遺憾ノ考ヘヲ持ツテ居リマス、其ノ今後ノ生産高ヲ如何ニシテ把握シテ行ツタラ宜イデアラウカト云フ點ニ付テ、皆様方ノ御意見モ拜聴シタ上デ善處シテ参リタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、生産高ノ把握ノ方法ニ付キマシテハ、御承知ト思ヒマスルガ、現在デハ所謂一町村大體百箇所以上ノ全刈調査ヲ實施致シマシテ、客觀的ニ脫穀カラ調整マデモツテ見テ生産高ヲ押ヘルト云フ風ナ、相當客觀的ナ「フックタ」ニモ織入レマシテ調査ヲシテ居ル譯デアリマスガ、併シ其ノ結果ガ、遺憾ナガラ昨年ノ米ガ四千萬石ヲ切リ、今年ノ麥ノ生産高ガ非常ナル低イ數字ヲ府縣カラ言ツテ來テ居ル譯デアリマシテ、此ノ全刈ヲヤツテモ尙ホ少イ數字ガ出ルト云フ點ニ付テハ、調査方法ニ於キマシテ、今年ノ新米ニ付キマシテハ何カ新シイ方法ヲ考慮致シマシテ、出來ルダケ實際ヲ押ヘテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居ルモノデアリマス

○成島委員長 叶君ニ申上ゲマスガ、今内務大臣ガオ見エニナリマシタカラ、内務大臣ニ關係アル點ヲ御聽キヨ願ヒタイト思ヒマス

○叶委員 内務大臣ニ御質問申上ゲマス、戰爭中カラ戰後ニ掛ケマシテ、食糧ニ關係スル所ノ犯罪ガ非常ニ多イ譯デゴザイマス、是ハ私ノ從來ノ經驗カラ申シマスルト、第一感カラ申シマスルト、柿ヲ一包盜ツテ逮捕ニ來マシタル警察官ヲ溝ニ突落シテ殺ス、斯ウ云フ風ナ犯罪ノ恰好ト云フモノハ、是ハモウ必ズ素人デアルト云フ風ニ私ハ見テ居ルノデアリマス、サウ云フ譯デ、日本人全體ガ此ノ食ニ原因スル所

ノ凡ニル不愉快ナル道德的ナル氣持ニ於ケル罪上云々觀念、又具體的ニハ刑事問題ヲ起シテ居ル譯デアリマス、私ハサウ云フ點ニ對シマシテ、直接國內ノ治安ノ職務ニ當リテ居ラレマス所ノ内務當局ノ御意見、ソレニ對スル御感想ナドヲ一ツ聽カシテ貰ヒタイ、直接的ニハ農民ノ生産意欲ニ關係スル所ナノデアリマス、私ハ河内ニ住ンデ居ルノデアリマス、而モ此ノ頃ノ野荒シハ、血ヲ伴フヤウナ結果ガ往々アルノデアリマス、最近ニ於キマシテモ、三島郡ニ於キマシテ或ル人が野荒シニ殺サレテ居リマス、ソレハ玉葱ノ泥棒デゴザイマシタ、ソレカラモウ一ツハ牛泥棒ガ非常ニ多イデアリマス、所ガ牛泥棒ニ遭ヒマス、都會ノ人達ハ農家ハ新圓ガダ付イテ居ルヤウニ考ヘマス、相當ノ農家デモ直グニ牛ヲ手ニ入レルトシマス、河内ノ方ニ於キマシテハ、役ニ立ツ所ノ牛ナラバ一萬圓カラ一萬二、三千圓位ノ新圓ヲ持ツテ行カケレバ急速ノ間ニ合ハナイノデアリマス

〔委員長退席、須永委員長代理著席〕

サウ云フ譯デ牛泥棒ガ多イ、之ニ付キマシテ、大阪農耕用牛馬保護組合ト云フ一盜難ニ遭ヒマシタル時ニハオ互ヒニ積立金ヲ致シテ居リマシテ、其ノ半分位ヲ其處カラ保險金トシテ出ス組織ナノデゴザイマスガ、大阪農耕用牛馬保護組合ナシカト云フモノヲ自主的ニ拵ヘツ、アル譯デアリマス、時間ノ關係モアル譯デアリマス、其ノ趣旨トカ規約ニ付キマシテハ略シマスガ、サウ云フヤウナ保險組合マデモ作

リマシテ、何トカシナケレバナラナイト云フ風ニ考ヘテ居ルヤウナ譯デゴザイマス、例ヘテ申シマスレバ、農民諸君ノ表現ヲ用ヒマス、大キクナツテカラ馬鈴薯ヲ盜ツテ呉レタラ宜イノ、親指ノ尖位ナ内ニ馬鈴薯ヲ盜ラレテシマヒマスナラバ、是ハ盜ツタ方モ大困リデアリマシテ、供出スル爲ニ馬鈴薯ヲ外カラ闇テ買ツテ來テデモ果サスト、即チ斯ウ云フ食糧緊急勅令ト云フヤウナモノガゴザイマシテ、傳家ノ寶刀ヲ頭ノ上デ振廻サレル結果ニナル譯デゴザイマス、兎ニ角サウ云フ犯罪ガ農民ノ生産意欲ヲ非常ニ阻碍スル譯デゴザイマス、ソレカラ次ニ、市民ガ非常ニ多イデゴザイマス、昨日ノ「サン」ト云フ東京ノ寫眞ノ新聞紙ニ依リマス、特色々賢明ナル所ノ警官諸君ハ相當温情ノアル手續ヲ執ツテ居ラレルヤニ見タノデゴザイマス、ルケレドモ、私共ハ斯ウ云フ經濟罪犯其ノモノニ對スル社會相ニ對シ、治安ト云フ問題ヲ中心ニ致シマシテ、大衆の、集團のナモノニモ化シテ行カウトスル所ノ食ノ生活諸問題ニ對スル内務當局ノ御見解ヲ一ツ御聽キシタイと思フノデアリマス

次ニ市民ガ愛稱シテ青春市場トカ自由市場トカ申シテ居リマスガ、或ル人ハアレヲ闇市場ト申シテ居リマス、全國ノ都市ニ此ノ自由市場ガ出來マシテ、サウシテ窮屈ナル九公ニ依リマス所ノ來ラザル食糧ノ配給品ヲ、大衆ト致シマシテ之ヲ利用致シテ居ルノデゴザイマスガ、私ノ一番懸念スル所ハ、此ノ衛生ト云フヤウナ問題デアリマス、斯ウ云フコトニ付キマシテ、内務

當局ナシカハ如何御考ヘニナツテ居ルノデアリマセウカ、私ノ隣家ニモ駐在所ガアルノデゴザイマス、コレモ此ノ警察官ノ方々ノ生活ヲモウ少シ何トカ考ヘナケレバ、我々日本人ハ枕ヲ高クシテ眠ルコトガ出來ナイト云フヤウナ世相ニナリツ、アルノデアリマス、河内ノ農家ナシカニ於キマシテハ、夜通シ鬼ニ角燈ヲ持テ山點ケマシテ、道路ヨリモ部落ニ入りマス、歸ノ道フノモ分ルヤウニ部落ヲ明クシテ、自衛團ナンカヲ常時持ツテ警戒ニ當ツテ居ルト云フヤウナ實情アルノデゴザイマスガ、ヤハリサウ云フ時ニ、勇敢ニ色々指導シテ戴ク警察官ノ方々ノサウ云フ特色々待遇ノ問題ナンカモ睨ミ合セテ、内務當局ハ如何ナル治安ノ御方針ヲ持ツテ居ラレルカト云フコトニ付キマシテ、一ツ御話ヲ承リタイト存ズル次第デアリマス

○大村國務大臣 唯今御述べニナリマシタ如ク、我が國ノ現在ノ社會狀態ハ、警察面カラ之ヲ見マスルト、洵ニ容易ナラヌ事態ガ展開ヲ致シテ居ルノデアリマス、其ノ原因ハ多々アルノデアリマセウ、御話ノ如ク食糧ノ逼迫ト云フコトハ、確カニ最も大キナ原因ノ一ツデアラウト思ヒマス、其ノ他ノ點ニ於キマシテモ、物價ノ昂騰乃至海外カラ殆ド裸一貫デ歸還サレテ來タ人ガ多數ニアリマス、是ガ歸國致シマシテ、生活ヲシテ行ク上ニ於キマシテハ、非常ナ困難ガアル、又經濟界ノ激變ニ依リマシテ、相當多數ノ所謂經濟破綻ヲ出シテ居ルト云フヤウナコトモアリマス、ソレカラ尙他ノ一ツノ重大原因ト致シマシテハ、終戰後遼法精神ガ低下シタト申シマス、或ハ人心ガ荒廢シタト申シマス、是モ一

ツノ重大警察對象ヲ増加サセマシタ原因ノ一ツダと思フノデアリマス、此ノヤウナ惡條件ガ累積シマシテ、今日警察ノ對象ナリマス所ノ事件ガ、非常ニ激増致シテ居ルノデアリマス、其ノ點ニ於キマシテ激増致シテ居リマス、其ノ質ニ於キマシテモ、洵ニ取扱ノ困難ナモノガアルノデアリマス、之ヲ一口ニ申シマス、犯罪事件ガ兇暴性ヲ非常ニ加ヘテ來テ居ルノデアリマス、防犯警察ノ見地カラ犯罪ノ現行犯ヲ取押ヘルト云フヤウナ場合ニ於キマシテモ、警察官ガ前以テ計畫のニ相當強力ナル實力ヲ備ヘテ其處ニ臨マナケレバ、犯人ノ兇暴性ニ反擊セラレマシテ、或ハ傷害ヲ被ル、間々警察官ガ職務ノ爲ニ人命ヲ落スト云フヤウナコトガ頻發致シテ居ルノデアリマス、尙ホ一面ニ於キマシテハ我が國ノ警察力其ノモノノ上ニ於キマシテモ、洵ニ憂慮スベキ事情ガアルノデアリマス、即チ終戰後ニ於キマシテ、世ノ中ノ變リ方ガ激變致シマシタ爲ニ、警察官ガ職務ヲ執行スルニ當リマシテ、如何ナル指針方針ニ基イテ行動スベキカト云フヤウナ點ニ付キマシテ戸惑ヒマシタ、能ク世間ニ言ハレルコトデアリマスガ、國民一般モ戰後放心狀態ニ陥ツタト云ハレテ居リマスガ、ソレト類似シマシタコトガ、警察界ニモ確カニ存在シタト云フコトヲ遺憾ナガラ認メザルヲ得ナイノデアリマス、尙ホ一面ニ於キマシテハ、警察官モ人デゴザイマス、食糧問題、「インフレ」問題等ノ惡影響ハ等シク受ケルノデアリマス、警察官ハ職務ヲ執行スル前ニ、家族ノ生活ニ氣ヲ取ラレルト云フヤウナコトモ、數多ク存在シテ居ルノデアリマス、尙ホ陸海軍ナキ後ノ我が

國ノ治安ハ、警察ノ一手ニ懸ツテ居ルノデアリマス、先程來申上ゲマスヤウナ事情カラ致シマシテ、警察官ノ數ヲ思ヒ切ツテ増加スルコト云フコトハ、我が國治安ヲ確保スル上ニ於キマシテ、非常ニ重要ナ問題デアリマス、是ハ敗戰後ノ我が國ノ實情ト致シマシテ、直チニ實現ヲ許サレナイ事情ガ伏在致シテ居リマス、警察力ガ戰前ヨリモ低下シテ居ルコトモ事實デアリマス、又只今申上ゲマシタヤウナ、之ヲ補フ警察官ノ増員ト云フコトニ付キマシテモ、今直チニ之ヲ實現スルコトハ出來ナイト云フヤウナ事情ガゴザイマシテ、先程來申上ゲマスヤウナ警察ノ對象ガ激増シテ居ルニ拘ラズ、ソレニ對處スル警察力ガ洵ニ心許ナイト云フヤウナコトデアリマシテ、今日私共ハ警察官ノ士氣ヲ引立テマシテ、此ノ事態ニ極力努力精進スルコト云フコトニ懸念ハ致シテ居リマスガ、有禮ニ申シマシテ手ガ及ビ兼ヘルト云フヤウナ次第デアリマス、例ヘバ朝鮮人等ノ集團買出ト云フヤウナコトハ、是ハ食糧問題ノ上ニ於キマシテモ、又經濟秩序ノ維持ノ上ニ於キマシテモ、十分取締ラナケレバナラヌ、又一般國民ガノ暴狀ニ對シテ齒痒サラ感ジテ居ル、又切齒扼腕ヲシテ居ルト申シテモ宜カラウト思ヒマスガ、是等ニ對シマシテ、其ノ非違ヲ正スコトニ付キマシテハ、關係方面モ今日ニ於キマシテハ十二分ニ納得ヲシテ呉レマシテ、蔭ナガラ好意アル援助マデ得テ居ルノデアリマスガ、之ヲ現實ノ問題ト致シマシテ、ソレナラバ警察力ヲ以テ毎列車、毎客車ヲ徹底的ニ掃除スルコト云フコトハ、遺憾ナガラ今日ノ警察力デハ十分ニヤツテ行ケナイノデアリマス、ト申シマ

スノハ、彼等ハ集團的ニ行動致シマス、サウシテ情報連絡ガ極メテ巧妙デアル、尙ホ其ノ集團行動ニハ、往々ニシテ暴力ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソレニ二人ヤ三人ノ弱體警察力デ臨ミマスレバ、何等ノ實效ヲ收メザルノナラズ、却ツテ反響ニ遭ツテシマフ、一層國民ヲシテ切齒扼腕サセルト云フヤウナ事態サヘ起ルノデアリマス、故ニ是等ニ對處致シマスニ付キマシテハ、警察方面ニ於テマシテモ、前以テ計畫的ニ相當ノ警察官ヲ集結致シマシテ、場合ニ依レバ檢事セントスル列車ノ特定ノ箱ヲ鐵道當局ト隱密ノ間ニ打合セマシテ切離シマシテ、ソレヲ數百人ノ警察官ガ取巻イテ、サウシテ嚴重ニ檢事ヲスルト云フヤウナコトモ行フ、其ノヤウナ準備ヲシテ掛リマス、彼等ノ情報網ニ依リマシテ、本日ハ甲地方ニ手入レガアルヤウダト云フコトニナリマス、甲地方ニハ一切姿ヲ見セズ、集團乙地方ニ參ルト云フヤウナコトデアリマシテ、洵ニ持餘シテ居ルト云フヤウナ事態デアリマスガ、併シ是等ノ問題ニ付キマシテモ色々工夫ヲ致シ、餘リ遠カラザル中ニ相當ノ成果ヲ擧ゲ得ル手配ガ出來テ居リマス、尙ホ此ノ列車内ノ乗客ノ暴狀ニ付テハ、是ガ徹底の取締ヲスルト云フコトニ付キマシテモ、政府トシテ新シイ方途ヲ講ジナケレバナラヌヤウニ考ヘマシテ、折角今手配中デゴザイマス

〔須永委員長代理退席、委員長著席〕
ソレカラ野荒シノ事例ヲ御指摘ニナリマシタガ、食糧ノ逼迫ノ情勢カラ、其ノヤウナ事項ガ全國のニ類發シテ居ルト云フコトハ事實デアリマス、併シ此ノ野荒シノ中ニハ之ヲ大別シマシテ

凡ソ二ツアルト思ヒマス、食糧ノ缺乏、運配等ニ依リマシテ、或ル家庭ニ依リマシテハ生命スラ維持出來ナイヤウナ窮況ニ落込マレタ者ガ、惡イ事トハ知リナガラ野荒シマスルト云フヤウナ、洵ニ同情スベキ動機カラ其ノヤウナ犯行ニ出テ居ル者モ間々アルノデアリマスガ、併シ實際問題ト致シマシテ最モ私共ガ遺憾トシ、又之ヲ放置スルコトノ出來ナイノハ、職業的野荒シデアリマス、此ノヤウナ事犯ハ各地ニ非常ニ廣クアル、寧ロ後者ノ方ガ實害ハ多イノデハナイカト云フ風ニ思ハ、一夜ノ中ニ極メテ廣イ面積ノ野荒シマシテ行ク、アノ收穫ハ到底個人ガ消費スルモノデハアリマセヌ、恐ラクソレニ依ツテ利ヲ得ル爲ニ、或ハ之ヲ闇市ニ流ス、乃至ハ隠レデ之ヲ消費家ニ賣渡スルト云フヤウナ、極メテ惡質ノ者ガアルノデアリマス、之ニ臨ミマス警察ト致シマシテハ、固ヨリ兩者共適當ニ取締ラナケレバナラヌコトデアリマスガ、特ニ後者ノ點ニ重點ヲ置キマシテ、努力ハ致サシテ居ル次第デアリマスガ、何ニ致セ耕作地ハ陸壁モナイコトデアリマス、又監視モ十分ニ行届カナイ所デアリマシテ、先程來申シマスルヤウナ今日ノ實情下ニ比較致シマシテ、微弱ナル警察力ノミヲ以テシテハ、其ノ完璧ヲ期スルコトモ出來ナイヤウナ狀況ニアリマスコトハ、甚ダ相濟マヌコトト考ヘテ居リマス、此ノヤウナ警察力ノ缺陷ヲ補充スル爲ニ、地方農民ニ於ケルマシテハ夜番ヲシテ野荒シヲ監視スル、又其ノヤウナ時ニ狂暴性ノ犯人ガアリマシテ、ソコニ危害ヲ加ヘラレダト云フヤウナコトモ時ニ起ツテ居リマスコトハ、洵ニ遺憾千萬

デアリ、相濟マヌコトニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、率直ニ私ハ茲ニ警察ノ實情ヲ申上ゲマシテ、今日ノ狀態ヲ御報告申上ゲル次第デアリマス、唯併シ其ノヤウデハ洵ニ心許ナイ警察ノヤウデアリマスガ、併シ段々ト警察モ立直リシ、アリマスガ、敗戦後日ヲ經ルニ從ヒマシテ、社會狀態モ安定トマデハ參リマセヌガ、段々安定ノ方向ニ向ツテ居リマシテ、警察ノ對象ナルベキ事件モ、段々減少シツ、アルヤウニ見受けラレルノデアリマス、又警察官ニ於キマシテモ、其ノ職責ノ重大ナルコトヲ一層自覺シテ來テ居リマスルコトハ固ヨリデアリマスルガ、先ニ一言致シマシタヤウニ、敗戦後警察官ノ行動ニ付テノ方向指針ト云フヤウナモノニ付キマシテ、自信ヲ失ツテ居ツタノデアリマスガ、不良朝鮮人ニ對スル取締方針ニ付テノ各方面ノ諒解ガ段々濟ミマシタコト、乃至ハ「デモ」ヲ取締ニ付キマシテ聯合國司令官ニ於テハツキリシタ線ヲ劃定セラレ、其ノ他色々ノ點ニ於テ警察進ムベキ道ガ段々トハツキリシテ參リマシタノデ、方針ガ立タナイト云フ面ニ於ケル警察力ノ弱點ト云フコトハ、餘程回復シテ參ツタノデアリマス、是ハ日ナラズ完全ニ拂拭サレマシテ、警察ノ使命達成ニ向ツテ勇往邁進シ得ルト期待ヲ致シテ居ル次第デアリマス、尙ホ又警察力ノ増強ニ付キマシテハ、今直チニ約十萬ノ警察官ヲ増員スルコトガ不可能デアルト致シマスルナラバ、之ニ對處致ス方法ト致シマシテハ、警察ノ取扱ツテ居リマスル仕事ノ或ル大キナ部分ヲ、其ノ質ニ依ツテ、出來マスモノハ近ク之ヲ市ニ委譲シタラドウカ、此ノ内容ニ付キマシテハ目下檢討中デアリマスガ、市ノ警察ヲ作ツ

テ、市警察ヲ取扱ハセルト云フコトニ致シマスレバ、ソコニ現在ノ府縣警察ノ上ニ手ガ餘ツテ來ルコトデアリマス、又例ヘバ列車内ニ於ケル警察ノ如キハ、是ハ運輸省所管ノ警察ニシテ行ツタ方ガ、寧ロ現在ノ事態ニ即應スルノデハナイカト云フヤウナコトモ考ヘラレルノデアリマス、其ノヤウナ點ニ付キマシテモ色々改善ヲ今考中デアリマス、尙ホ又敗戦後警察ノ裝備ノ點ニ於キマシテ、洵ニ遺憾千萬ナコトノミデアツタノデアリマス、例ヘバ近頃ノ犯行ハ集團的デ行ハレマスルノミナラズ、多クハ自動車、「トラク」ノ如キモノヲ活用シテ居ル、其ノヤウナ場合ニ警察ガ出動スルト致シマシテモ、公衆電話ハ固ヨリ警察電話ノ如キデサヘ殆ド其ノ用ヲナシテ居リマセヌ、現ニ東京都下ニ於ケル警察署管内ノ警察電話ハ、種々故障ダラケデアリマス、ソレカラ尙ホ事件ガ自動車行ハレマス場合ニ於キマシテハ、之ヲ取押ヘニ行クモノガ同ジク自動車ヲ使ハナケレバ、到底問題ニハナラナイノデアリマスガ、是ガ非常ニ手薄デアリマシテ、殆ドナキニ等シイト云フヤウナ狀態デアリマシテ、其ノ他警察ノ裝備ノ點ニ於キマシテハ極メテ不完全デアリマス、ソシテ又之ヲ補充スルト致シマシテモ、敗戦後ノ實情ト致シマシテ、資材ノ缺乏カラ申ス思フヤウニ參ラヌト云フヤウナコトモゴザイマス、甚ダ殘念デアツタノデアリマシテ、茲ダ我が國ノ生産力モ回復上昇シツ、アリマスノデ、警察裝備ノ充實ニ際シマシテハ、ソレ等ノ上昇シタル生産力ヲ優先的ニ活用スルト云フヤウナ方途モ講ジナケレバナラヌ、尙ホ又此ノ警察官ノ優遇ト云フヤウナ問題ニ付キマシテ

ハ、一般官吏ガ等シク苦シンデ居ル時ニ、警察官デケラ優遇スルト云フコトハ、中々言フベクシテ行ハレナイコトデゴザイマスガ、近ク政府ニ於キマシテハ一般官吏等ニ對シマシテ、今日ノ經濟事情ニ即應シマシテノ所謂優遇モ、目鼻ガ付ク段階ニ達シテ居リマス、之ニ依リマシテ警察官ハ優遇トマデハ參リマセヌデモ、後顧ノ憂ヒナク職務ニ従事スルト云フコトモ可能ニナツテ參ル次第デアリマスノデ、今後日ト共ニ警察力ハ相當ニ力ヲ回復シ、充實シテ來ルコト云フコトガハツキリ申上ゲ得ルト思フノデアリマス、尙ホ此ノヤウナ實情デゴザイマスルガ、我が國ノ警察ハ終戦後大イニ改善ヲ要スル、殊ニ民主主義ノ線ニ沿フテ、新シイ意味ノ警察ヲ打ち立テラシムコトガ、絕對ニ必要ナ段階ニ達シテ居ルコトデアリマス、此ノヤウナ色々ノ條件ヲ取入レマシテ適切ナル警察改善諸策ヲ至急ニ打立テマシテ、サウシテ其ノ目標ニ向ツテ改善ヲ實施スルト云フコトニシナケレバナラヌコトモ考ヘテ居リマス、是等ノ點ニ付キマシテハ尙ホ研究中デアリマシテ、確乎タル結論ニ達シタ譯デハ固ヨリゴザイマセヌ、併シ適當ノ機會ニ其ノ改善方針ヲ案ト申シマスカ、素案申シマスカ、ト云フヤウナモノヲ各位ニモ御覽ニ入レマシテ、議會初メ世間ノ御意見ヲ聽キ新シイ民主主義ノ線ニ沿フタ警察ヲ確立スルト云フコトニ致シタイ、ソレ等ノ改善諸方策ガ結論ニ達シマスルニ從ヒマシテ、此ノ議會ニハ間ニ合ヒマセヌガ、次ノ臨時議會、通常議會等ニハ必要ナル法律案、豫算案等モ是非ヲ提出シマシテ、御審議御協賛ヲ得タイト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○叶委員 衛生ノ點ハ

○大村國務大臣 所謂青空市場、闇市ト申シマス、ノ繁榮振リハ御話ノ通りデアリマス、此ノ青空市場ニ對シマシテハ、是ハ實際上ノ必要カヲ生シテ來テ居ルノデアリマシテ、是ガ民生ニ役立ツテ居ル面ノ現實ハ承認シナケレバナラヌト思ヒマスガ、併シ青空市場ニハ色々ノ弊害ヲ伴ツテ居ルノデアリマス、禁制品ヲ隱密ノ間ニ販賣スルト云フヤウナコトハ、固ヨリ警察トシテ取締ラナケレバナラヌコトデアリマス、又御話ノ如ク設備ガ極メテ不完全デアリマシテ、衛生上洵ニ憂慮スベキ事態ガ現ハレテ居ルノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテモ、是ハ根本ノ問題ハ寧ろ警察ト申シマスヨリモ、厚生省ノ衛生行政ノ範圍ニ入ル次第デハアリマスガ、出來ルデケノ改善ヲシナケレバナリマセス、又其ノ不衛生ノ狀態ガ警察ノ取締對象ニナリマスニ付キマシテハ、警察ト致シマシテモ蓋處致サナケレバナラヌコトデアリマス、ガ、何ニ致セ青空市場ハ、建物ノ燒失致シマシテ、物資不足ノ時設ケラレテ居ルノデアリマシテ、其ノ現實モ相當同情ヲ以テ見テヤラナケレバナラヌ點モアリマス、衛生狀態ガ惡イカラト云フコトデ、一概ニ之ヲ撲滅スルト云フ譯ニハ參リ兼ネルト考ヘテ居ル次第デアリマス

○叶委員 御同感デアリマス、内務大臣ニ對スル質問ヲ打切りマス

○成島委員長 大藏省ノ主税局長ガ見エテ居リマス、大藏省ノ關係ガアルナラ……

○叶委員 サウデスカ——ソレデハ御質問申上ゲマス、最近農民ニ課セラレテ居リマスル所ノ所得稅ハ非常ニ重イ

ノデアリマス、重稅デアリマス、其ノ實例ト致シマシテハ、新潟縣中頸城郡板倉村ニ於キマシテ、三月以降ノ供出分ニ對シ一俵四百圓ノ闇賣リトシテ課稅シタ、其ノ爲メ六百八十四圓、二千八百五十俵、全部デ七十九萬八千圓稅金ガ課ツテ來テ居ルノデアリマス、又未供出農家ノ分ニ對シマシテハ、八俵以上ノ分ハ四百圓ノ倍トシテ課稅シテ居ルノデアリマス、但シ二月マデハ一俵百二十圓ノ制デアリマス、ソレカモ、サウ云フコトデアリマス、ソレカラ蔬菜ハ闇ニ賣ツタトシテ課稅ヲシテ來テ居ルノデアリマス、是ハ新潟縣ノ例デアリマス、私ノ居住致シテ居リマスル所ノ部落ハ、代表ノ蔬菜作リノ所デゴザイマシテ、河内ノ農家ニ於キマシテモ實ニ籠棒ノ重稅ガ來テ居ルノデアリマス、或ル農家ノ如キハ二萬圓餘リ來タノデアリマス、稅務署ニ出掛ケテ行キマスルコト云フト、一週ニ一萬圓足ラズノモノニ負ケタト云フヤウナ例モアルノデアリマス、稅務署ノ方全部ガ出掛ケタト云フ譯デハゴザイマセヌケレドモ、餘リ掛値ガ大キ過ギルト私ハ考ヘル次第デアリマス、大體勤勞所得稅ニ對シマシテハ、我が黨ハ全部撤廢スベシト云フ意見ヲ持ツテ居ルノデアリマス、一夜千金ヲ投ジテ散財スルコトノ出來ル所ノ新圓稅金ガマダ現在居ル譯デアリマス、サウ云フ者ニナゼ課稅シナイノカ、戰爭中戰爭ノ爲ニ儲ケマシテ、温クノト寢込ンデ居ル人達ガマダ居ルノデアリマス、指摘スルナラバ數々アリマス、サウ云フ人達カラナゼ稅金ヲ取ラナイノカ、此ノ農民ニ課セラレマシタ所ノ重稅ニ關シマシテ、大藏省ニ於キマシテハ、直接所管廳トシテ、農民全部ガ關

ヲシテ居ルカラ稅金ヲ取ルト云フコトデアリマスルナラバ、農民ハ全部闇ヲヤレト云フコトニ解譯シテ宜シノデアリマス、大體善良ノ農家ハ其ノ方針ノ理解ニ苦シンデ居ル譯デゴザイマス、一ツ其ノ點ニ對シマシテ、御老ヘ方ヲ御答ヘ願ヒタイト思ヒマス

○池田(農)政府委員 御答ヘ申上ゲマス、今年ノ農業所得ガ非常ニ上ツタ、而モ或ル程度闇ヲ加算シテ上ゲタノデハナイカト云フ御質問思ヒマス、昭和二十一年分ノ農業所得ニ付キマシテハ二十年中、殊ニ二十年ノ下期ニ當リマシテ、相當農產物價格ガ上昇致シマシタ爲ニ、從來ニ比較致シマス、可ナリノ所得ノ増ニ相成ツテ居ルと思フノデアリマス、御指摘ノ新潟縣ニ於キマシテ最近ニ供出シタモノニ付キマシテ、特別ノ課稅ヲ致シタト云フ點ハマダ聞及ンデ居リマセスガ、若シ御話ノ通りデアレバ訂正スベキモノト考ヘテ居リマス、又闇ト云フモノヲ所得ノ決定ニドウ云フ風ニ使ツテ居ルカト云フ御話デゴザイマスガ、課稅ニ當リマシテハ、私ハ農家ノ人ノ實際ノ所得ヲ擷マヘテ行クノガ一番宜イノダト思ヒマス、隨ヒマシテ出來上リマシタ農產物中カラ供出分ヲ控除シ、又或ル程度ノ自家用分ヲ控除致シマシテ、若シ他ニ賣ルナラバ、又賣ラレタナラバドレ位ノ收穫ガアルカト云フコトヲ見込ミマシテ課稅シテ居ルノデハナイカト云フ譯デアリマス、斯ク致シマスコトガ各農家ノ實際ノ所得ニ合致シナイ場合ニ於キマシテハ、稅務當局トシテハ直チニ訂正致スベキモノト考ヘテ居リマス

○叶委員 能ク分リマシタガ、新潟縣ナドノ實例ハ一ツ調査方ヲ御願ヒ致シテ置キマス、ソレカラ出來得ベクンバ、少

クトモ政府ノ官吏デアリマスカラ、實際ノ所得ガドレ程ト云フコトニ付キマシテハ、ヤハリ相當良心ノ確タル調査ノ上ニ立ツテ、農民ガ斯ウ云フコトヲ言ツテ來テモ、斯ウデハナイカト云フコトガ言ヒ得ルヤウナ立場ニアツテコソ、現在ノ政府ニ對スル農民大家ノ不信ト云フモノガ徐々ニ解消シテ、喜ブベキ現象ニ移ツテ行ク譯デゴザイマシテ、ボント稅金ヲ課ケテ來ル、ソレニ對シマシテ實際ヲ持ツテ行クナラバ、忽チソレヲ訂正スルト云フコトデハ、是ガドウ云フ結果ニナルカ、私ハ寒心ニ堪ヘナイノデアリマス、戰爭中カラ戰爭後ノ今日ニ至ルマデノ政府ノヤリ方ガ、餘リニサウ云フ喧ヒ違ヒガ多過ギルノデアリマス、如何ニ善意ニ解釋シマシテモ、農民ハ不信ノ聲ヲ擧ゲザルヲ得ナイヤウナ實情デゴザイマス、我々ハ勤勞所得稅ノ撤廢ヲ叫ンデ居ル、大藏大臣ハソレニ對シテ我々ト見解ヲ異ニスル發言ヲシテ居ラレマシタガ、此ノ點ニ付キマシテハ時間ノ關係上、此ノ程度ニ致シテ置キタイト思ヒマス、我々ガ信ノ觀念ニ立チマスル所ノ民主的ナル日本ヲ建設スルコト云フコトハ、祖國救済ノ先ヅ前提デアル、一日モ早く世界ノ仲間入りガ出來ルト云フコトデアリマス、殊ニ此ノ稅金ノ賦課ト云フヤウナコトニ付キマシテハ、非常ニ影響スル所ガ多イ譯デゴザイマス、尙ホ一層御慎重ナル態度ヲ以テ臨マレコトヲ希望致シマシテ、私ノ質問ヲ打切りマス

○成島委員長 ソレデハ今日ハ是デ打切りマシテ、明後日午後一時ヨリ開キタイト思ヒマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後零時三十六分散會

昭和二十一年八月一日印刷

昭和二十一年八月二日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局